

令和4年度障害者総合福祉推進事業  
(指定課題番号15)

# 就労系障害福祉サービスの利用者の支 援ニーズ等の実態把握等に関する調査

株式会社インサイト

令和5年3月



## 目次

1	事業概要.....	2
2	背景及び目的.....	3
3	実施内容.....	4
3.1	検討委員会の設置・実施.....	5
3.2	アンケート調査結果.....	6
3.2.1	事業所調査.....	6
3.2.2	利用者調査.....	42
3.2.3	クロス分析.....	107
3.3	ヒアリング調査結果.....	136
4	分析・考察.....	162
4.1	利用者の実態.....	162
4.2	事業所の考える「ニーズ」と利用者本人の「ウオンツ」.....	166
4.3	利用者が受けている支援と満足度の関係性.....	169
4.4	総括.....	175
5	成果の公表方法.....	176

## 1 事業概要

本事業は、令和2年度から実施されてきた「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」及び社会保障審議会障害者部会において議論されてきた「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて」の中で、障害者の就労支援に関して、新たな就労アセスメントの創設や障害者の就労を支えるための雇用・福祉施策の連携強化等の推進について方向性が示されたことを受け、現在の就労系障害福祉サービスの利用者について、支援ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を整理するため、事業所及び利用者へのアンケート調査、ヒアリング調査を実施した。

本事業の実施概要は以下のとおりである。

令和4年7月	第1回検討委員会
令和4年8月	第2回検討委員会
令和4年9月	事業所調査
令和4年10月	事業所調査集計及び利用者調査対象の抽出
令和4年11月	利用者調査(対象利用者に関する事業所向け調査含む)
令和4年12月	第3回検討委員会
令和5年2月	ヒアリング調査(事業所+利用者)
	第4回検討委員会
令和5年3月	最終報告書まとめ

## 2 背景及び目的

<背景>

### ○障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて

R2 年 11 月より開催された「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」では、3 つのワーキンググループを中心に議論が進められ、R3 年 6 月 8 日には報告書が提出され、上記検討会での議論を受け、R3 年 12 月 16 日には、社会保障審議会障害者部会より「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて 中間整理」が提出された。その中で、就労支援に関しては、検討の方向性として下記が挙げられた。

- ・ 新たな「就労アセスメント」の創設
- ・ 一般就労中の企業における支援と就労系障害福祉サービスによる支援の連携
- ・ 障害者の就労を支えるための雇用・福祉施策の連携強化等

これに加えて、就労継続支援 A 型については、その在り方や役割について、利用者や支援内容の実態等を踏まえて整理を進める必要がある、と示された。

なお、本調査研究開始後に発表された「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて 報告書(令和4年6月13日)」においても、上記内容については記載、言及されている。

### ○令和3年度障害者総合福祉推進事業「就労継続支援A型事業における就労継続及び一般就労への移行支援の実態把握に関する調査研究」

上記の在り方や役割を検討するにあたっての基礎研究的な位置付けとして、令和3年度「就労継続支援 A 型の実態調査」(以下、「R3A 型実態調査」という。)を、弊社が調査実施した。

この調査においては、1,221 件(回答率 29.9%)から回答を得ることができ、一定以上、A 型の現状を表す結果を得ることができた。

なお、この R3A 型実態調査の結果は、基本的にサービスを提供する事業所側の意見を集約したものとなる。しかし、この調査結果において、「事業所の支援内容と利用者ニーズは一致しているのか？」という差異を感じる部分もあったことから、「利用者に直接取材し、ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を把握すること」が今後の検討を進めるにあたって重要であり、また、これは A 型だけに留まらず、機能が重なりを見せ始めている現在の就労系障害福祉サービス全般の課題として、就労移行支援・就労継続支援 B 型も含め、関係性とあわせて把握することが重要だと考えた。

<目的>

上記のような背景から、本調査研究事業では、現在の就労系障害福祉サービスの利用者について、支援ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を整理することを目的とする。

### 3 実施内容

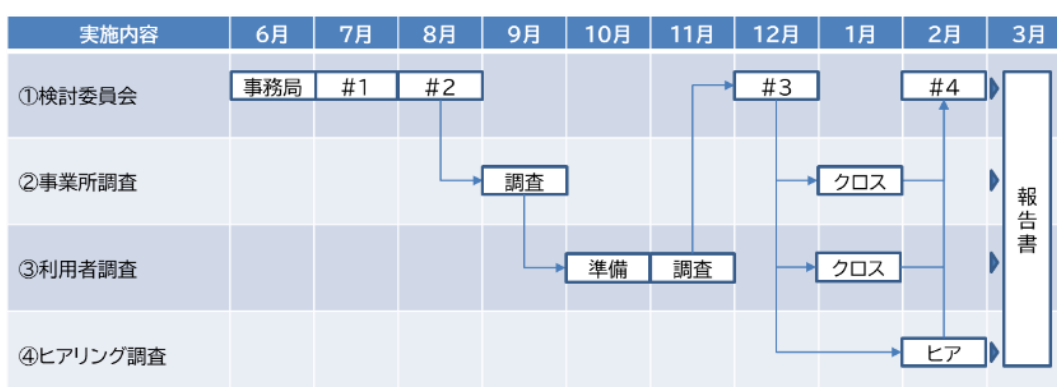
本事業は先述の目的を果たすために、大きく次の3点を実施し取り進めた。

- ① 有識者検討委員会の設置
- ② アンケート調査(事業所+利用者)
- ③ ヒアリング調査(事業所+利用者)

<全体の流れ>

全体の流れは下記のとおりである。

【全体の流れ】



### 3.1 検討委員会の設置・実施

本研究事業を推進するにあたり、有識者等による検討委員会を設置し、検討委員会を4回実施した。

#### 【検討委員会名簿】

【委員】 ◎は委員長

NO	所属・役職	氏名
1	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授	◎ 朝日 雅也
2	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 教授	岩崎 香
3	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長	又村 あおい
4	一般社団法人日本メンタルヘルスピアサポート専 門員研修機構 理事	内布 智之
5	一般社団法人日本発達障害ネットワーク 副理事長	大塚 晃
6	社会福祉法人つかさ会 理事長	志賀 正幸
7	社会福祉法人 加島友愛会 専務理事	酒井 大介

【オブザーバー】

1	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐	日高 幸哉
2	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 就労支援専門官	大工 智彦
3	厚生労働省職業安定局 障害者雇用対策課 課長補佐	富安 知翔

【事務局】

1	株式会社インサイト 代表取締役	関原 深
2	株式会社インサイト 取締役	北野 喬士
3	株式会社インサイト 客員研究員	芦川 英嗣

※順不同、敬称略

## 3.2 アンケート調査結果

### 3.2.1 事業所調査

#### <調査仕様>

- 調査方法:【事業所票】 Web アンケート方式  
【ケース票】 Excel 調査票をメール提出  
【ID管理票】 Excel 調査票に記入し事業所で保管
- 連絡方法:厚労省より指定権者(都道府県・政令・中核)に調査協力を依頼  
→各事業所に連絡
- 調査期間:2022/9/21(水)~2022/10/12(水)
- 配布数:21,890 件(事業別内訳は下表のとおり)
- 回収数(回収率):4,256 件(19.4%)

	就労移行	就労A	就労B	合計
配布数	3,353	4,130	14,407	21,890
回収数	527	859	2,870	4,256
回収率	15.7%	20.8%	19.9%	19.4%

- 調査内容  
【事業所票】【ケース票】の2種類の調査に回答、【ID管理票】については、利用者調査に協力いただく際に必要な情報を記載いただいた。  
【ID管理票】は調査対象利用者をIDで紐づけ、利用者調査の際に各事業所が無作為抽出された調査対象利用者を判別するために使用。

#### 【事業所票】

- ◇ Q1~Q8:基本属性
  - ・ 事業所番号、法人格、法人名、事業所名、実施事業、事業所指定の形態、設立年、就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)
- ◇ Q9~Q15:事業所情報
  - ・ 定員数、利用(登録)者数、1日平均利用者数、平均利用年数、利用者の平均年齢、利用者の主な障害種別と人数、一般就労希望者数、直近2年間の利用終了者の移行先と人数、支援員数、賃金(工賃)向上達成指導員数、生産活動専門職員数、利用者の平均賃金(月額)、A型スコア点数(各項目)、利用者の平均工賃(月額)、就労定着率
- ◇ Q16~Q22:支援方針、利用者の希望に対する対応等
  - ・ 支援方針として重視する事項、本人の希望の確認方法・把握するための工夫、希望の変化、希望と見立てとの差異が生じる割合、差異がある場合の対応(支援の見直し・他機関連携・既存の支援での対応状況・

対応不可の頻度・他事業所への移行)、希望に応じた支援実施における課題

【ケース票】

◇ Q1～Q5:利用者情報

- ・ 事業所番号、利用者 ID、年代、性別、障害の種類、障害支援区分、利用している就労系事業

◇ Q6～7:事業所が把握している本人の希望

- ・ 本人が「利用開始当初」・「現在」実現したいと思っていること

【ID 管理票(事業所保管)】

- ・ 事業所番号、事業所名、利用者 ID(ケース票と一致)、利用者名

◎ 使用文言の定義

本章以後使用されている、利用者の「ニーズ」と「ウォンツ」という文言については、便宜的に以下のとおり区別して使用している。

- 「ニーズ」：個別支援計画の作成時等のタイミングで事業所が利用者本人から聞き取った、利用者本人の希望を実現するために必要であると事業所側が認識していること
- 「ウォンツ」：利用者本人が希望していること



## ◆ 調査結果

### ・ 法人格

就労移行支援では、「株式会社・有限会社・合同会社」が 255 件(48.4%)と約半数となっている。次いで、「社会福祉法人」が 141 件(26.8%)であった。

就労継続支援 A 型はさらにその傾向が強く、「株式会社・有限会社・合同会社」が 549 件(63.9%)と高い割合を占めている。次いで、「社会福祉法人」120 件(14.0%)「NPO 法人」113 件(13.2%)であった。

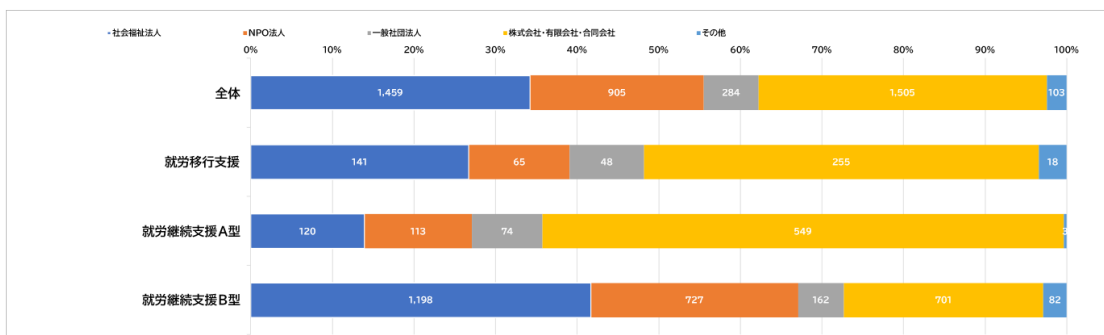
就労継続支援 B 型は、「社会福祉法人」が 1,198 件(41.7%)と最も高く、次いで「NPO 法人」727 件(25.3%)「株式会社・有限会社・合同会社」701 件(24.4%)であった。

## Q2. 法人格

- 回答事業所の割合は、就労移行と就労Aでは「株式会社・有限会社・合同会社」が最も多く特に就労Aでは6割強を占めている。一方、就労Bでは「社会福祉法人」が最も多かった。

Q2.法人格

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
社会福祉法人	1,459	34.3%	141	26.8%	120	14.0%	1,198	41.7%
NPO法人	905	21.3%	65	12.3%	113	13.2%	727	25.3%
一般社団法人	284	6.7%	48	9.1%	74	8.6%	162	5.6%
株式会社・有限会社・合同会社	1,505	35.4%	255	48.4%	549	63.9%	701	24.4%
その他	103	2.4%	18	3.4%	3	0.3%	82	2.9%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



## 実施事業

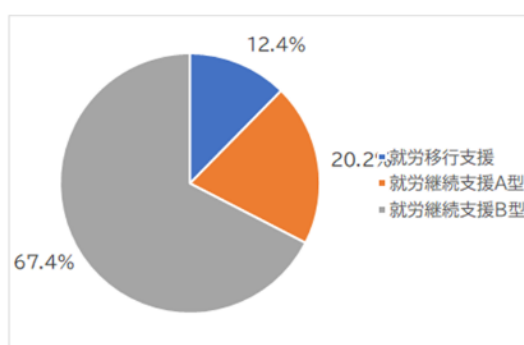
実施事業については、母数の多い就労継続支援 B 型が 2,870 件(67.4%)と多く、次いで就労継続支援 A 型が 859 件(20.2%)、就労移行支援は 527 件(12.4%)の構成となっている。

## Q5. 実施事業

- 回答事業所数は、就労Bが約2,900件、就労Aが約860件、就労移行が約530件

Q5.実施事業

回答	件数	構成比
就労移行支援	527	12.4%
就労継続支援A型	859	20.2%
就労継続支援B型	2,870	67.4%
計	4,256	100.0%



## 事業所指定の形態

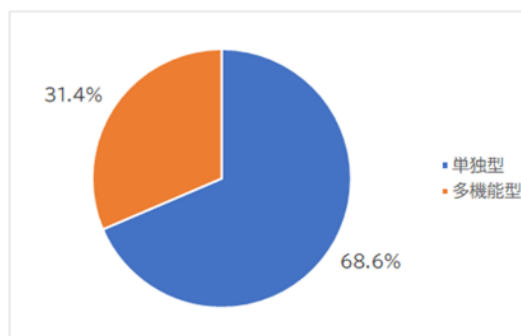
事業所指定の形態は、単独型が多く 2,918 件(68.6%)、多機能型が 1,338 件(31.4%)であった。多機能型の形態としては、就労移行支援では就労継続支援 B 型の多機能が 166 件(42.3%)と多く、就労継続支援 A 型では同じ就労継続支援 A 型との多機能、及び就労継続支援 B 型との多機能としている事業所がほぼ同じ 140 件程度で 40%強あった一方、就労継続支援 B 型では生活介護との多機能という回答が 631 件(44.1%)と最も多かった。

## Q6. 事業所指定の形態

- 指定形態は、単独型:多機能型=7:3の割合
- 多機能型の形態としては、B型、生活介護との多機能という回答が多い

Q6.事業所指定の形態

回答	件数	構成比
単独型	2,918	68.6%
多機能型	1,338	31.4%
計	4,256	100.0%



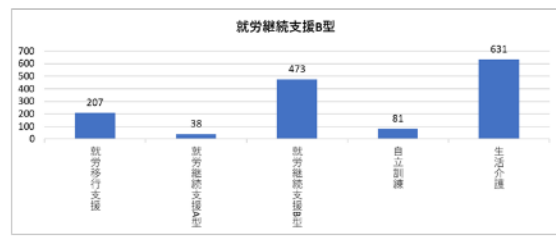
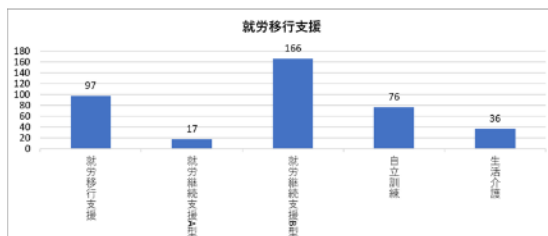
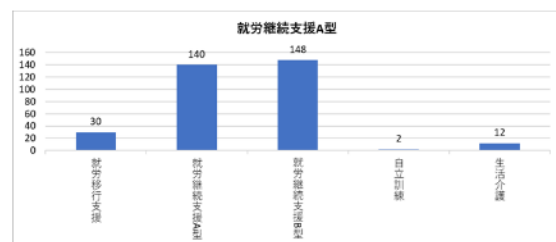
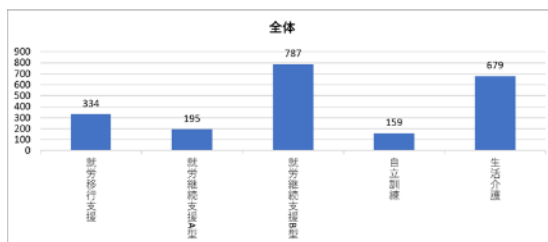
## Q6. 事業所指定の形態

- 多機能型の形態としては、就労移行では就労Bとの多機能が4割強、就労Aでは就労A同士、及び就労Bとが同じく4割強であった一方、就労Bでは生活介護との多機能という回答が4割を超えている

→多機能型と選択された方のみ回答して下さい。どのサービスとの多機能型が選択して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行支援	334	15.5%	97	24.7%	30	9.0%	207	14.5%
就労継続支援A型	195	9.1%	17	4.3%	140	42.2%	38	2.7%
就労継続支援B型	787	36.5%	166	42.3%	148	44.6%	473	33.1%
自立訓練	159	7.4%	76	19.4%	2	0.6%	81	5.7%
生活介護	679	31.5%	36	9.2%	12	3.6%	631	44.1%
計	2,154	100.0%	392	100.0%	332	100.0%	1,430	100.0%

## Q6. 事業所指定の形態



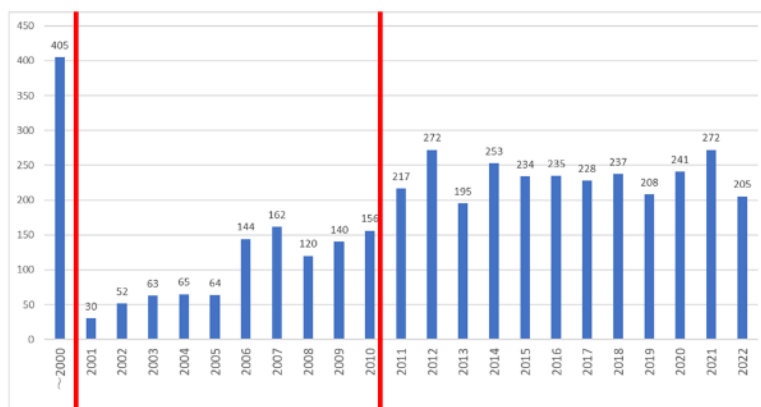
・ 設立年

全体では 2011 年(H23)以降から 200 件を超えはじめ、全体の 2,797 件(66.6%)となっているが、個別で見ると就労移行支援では、2006 年(H19)以降から増え始め 89.3%(461 件)を占めており、就労継続支援 A 型でも 2007 年(H19)以降が 95.3%(2,797 件)、就労継続支援 B 型は 2006 年(H23)以降が 79.3%(2,248 件)と、おおむね 2006 年以降設立の事業所の割合が多くなっている。

## Q7.設立年(全体)

- 全体では、2011年(H23)以降が66.6%(2797件)、2001年～2010年が17.2%(722件)、2000年以前は16.2%(679件)

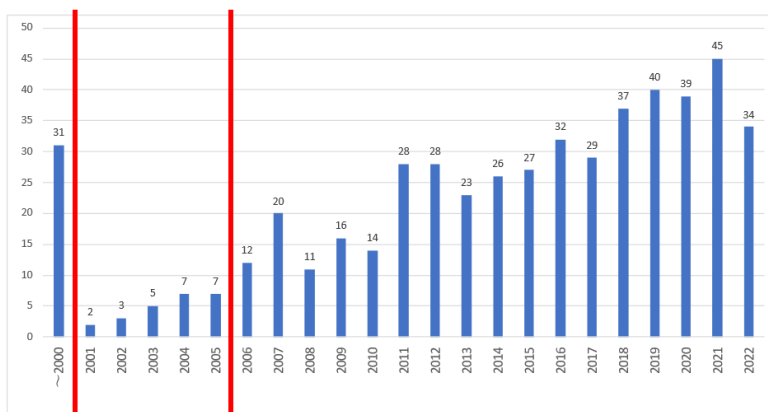
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	405	2008	120	2016	235
2001	30	2009	140	2017	228
2002	52	2010	156	2018	237
2003	63	2011	217	2019	208
2004	65	2012	272	2020	241
2005	64	2013	195	2021	272
2006	144	2014	253	2022	205
2007	162	2015	234		



## Q7.設立年(就労移行支援)

- 就労移行では、2006年(H19)以降から増え始め、89.3%(461件)を占め、2001年～2005年は4.7%(24件)、2000年以前は6.0%(31件)だった

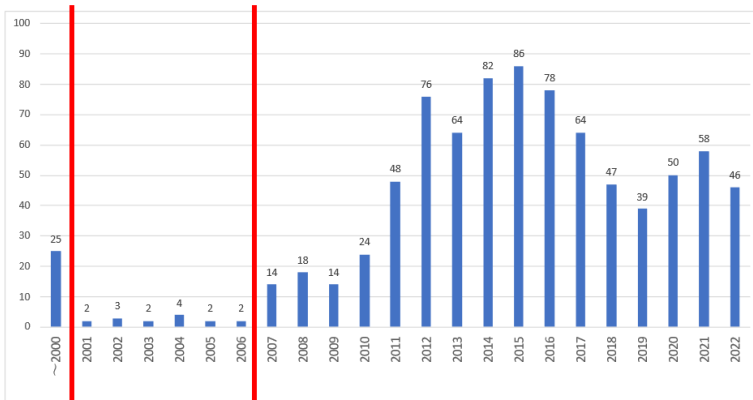
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	31	2008	11	2016	32
2001	2	2009	16	2017	29
2002	3	2010	14	2018	37
2003	5	2011	28	2019	40
2004	7	2012	28	2020	39
2005	7	2013	23	2021	45
2006	12	2014	26	2022	34
2007	20	2015	27		



## Q7.設立年(就労継続支援A型)

- 就労Aでは、2007年(H19)以降から大きく増え始め、95.3%(2797件)を占めた。2001年～2006年は1.8%(6件)、2000年以前は2.9%(25件)だった

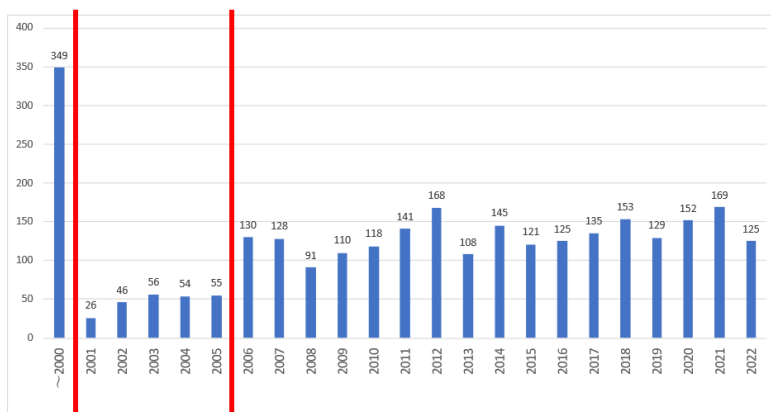
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	25	2008	18	2016	78
2001	2	2009	14	2017	64
2002	3	2010	24	2018	47
2003	2	2011	48	2019	39
2004	4	2012	76	2020	50
2005	2	2013	64	2021	58
2006	2	2014	82	2022	46
2007	14	2015	86		



## Q7.設立年(就労継続支援B型)

- 就労Bでは、2006年(H23)以降が79.3%(2,248件)を占め、2001年～2005年が8.4%(237件)、2000年以前は、12.3%(349件)だった

設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	349	2008	91	2016	125
2001	26	2009	110	2017	135
2002	46	2010	118	2018	153
2003	56	2011	141	2019	129
2004	54	2012	168	2020	152
2005	55	2013	108	2021	169
2006	130	2014	145	2022	125
2007	128	2015	121		



- 就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)
 

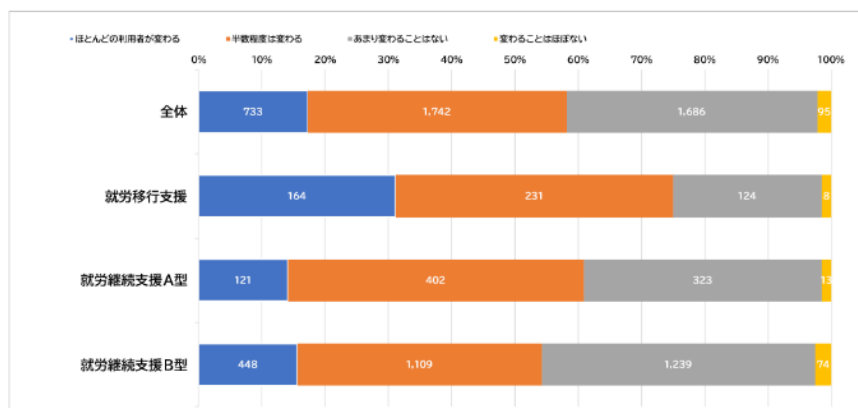
就労定着支援事業の実施は、特に就労移行支援が多く「有」が61.9%(326件)あった。就労継続支援A型・B型では10%強程度だが、件数ベースで見ると、全体数が多い就労継続支援B型でも300件あった。

## Q8.就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)

● 同一法人内で就労定着支援事業を実施しているのは、全体では17.1%(729件)だが、就労移行のみ、「有」が61.9%(326件)あった。就労A・就労Bでは10%強程度だが、件数ベースでは就労Bでも300件あった。

Q8.就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
有	729	17.1%	326	61.9%	103	12.0%	300	10.5%
無	3,527	82.9%	201	38.1%	756	88.0%	2,570	89.5%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



・ 利用者について

定員数については、就労継続支援 A 型では16～20名が 6 割程度と最も多く、20 名以内の事業所が就労継続支援 A 型全体の 93%程度、就労継続支援 B 型ではは16～20名が 57.2%を占めたが、それ以上の21～30 名、31 名以上の事業所も10%強あった。就労移行支援では1～10名が半数を超えており、次いで 16～20名が 4 割弱となっている。

利用登録者数では、どの事業も 30 名以内が大半となっており、就労継続支援 A 型で 85%、就労継続支援 B 型で78%、就労移行支援では94%が 30 名以内の登録者数であった。

## Q9.利用者について <定員数>

- 就労Aでは16～20名が6割程度と最も多く、～20名が就労A全体の93%程度
- 就労Bは16～20名が6割弱を占めたが、21～30名、31名以上の事業所も10%強あった
- 就労移行では1～10名が半数強、次いで16～20名が4割弱となっている

利用者について 定員数(人)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1～10	190	21.5%	347	11.2%	384	53.0%
11～15	93	10.5%	280	9.0%	44	6.1%
16～20	536	60.7%	1,776	57.2%	272	37.6%
21～30	29	3.3%	333	10.7%	17	2.3%
31～	35	4.0%	368	11.9%	7	1.0%
計	883	100.0%	3,104	100.0%	724	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

## Q9.利用者について <利用(登録)者数>

- 就労Aでは85%、就労Bでは78%、就労移行では94%が30名以内となっている

利用者について 利用(登録)者数(人)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1～5	56	6.4%	137	4.4%	211	32.2%
6～10	142	16.3%	324	10.5%	152	23.2%
11～15	161	18.5%	489	15.9%	67	10.2%
16～20	165	18.9%	609	19.7%	84	12.8%
21～25	103	11.8%	478	15.5%	59	9.0%
26～30	113	13.0%	376	12.2%	44	6.7%
31～35	62	7.1%	243	7.9%	26	4.0%
36～40	43	4.9%	169	5.5%	8	1.2%
41～45	13	1.5%	108	3.5%	1	0.2%
46～	13	1.5%	151	4.9%	4	0.6%
計	871	100.0%	3,084	100.0%	656	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答



1日当たりの平均利用者数に関しては、利用登録者数とクロス集計し利用率で分析したところ、就労継続支援A型では、利用率71%以上の合計が80.2%で3事業の中で最も高く、次いで就労移行支援が計68.1%、就労継続支援B型は計61.9%だった。一方で、就労継続支援B型は利用率0~50%の割合も10.7%で3事業の中で唯一10%を超えているという特徴があった。

## Q9.利用者について <1日平均利用者数>

- 単純集計では~25名という事業所の割合が多い

利用者について1日平均利用者数(人)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1~5	74	8.7%	223	7.4%	243	38.1%
6~10	178	21.0%	588	19.5%	150	23.5%
11~15	202	23.9%	718	23.9%	93	14.6%
16~20	166	19.6%	718	23.9%	110	17.3%
21~25	114	13.5%	315	10.5%	29	4.6%
26~30	51	6.0%	187	6.2%	7	1.1%
31~35	30	3.5%	117	3.9%	4	0.6%
36~40	23	2.7%	71	2.4%	0	0.0%
41~45	4	0.5%	30	1.0%	0	0.0%
46~	4	0.5%	41	1.4%	1	0.2%
計	846	100.0%	3,008	100.0%	637	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

## ○クロス集計 <利用率> = <1日平均利用者数> ÷ <利用(登録)者数>

- 就労Aでは、利用率71%以上の合計が80.2%で3事業の中で最も高く、次いで就労移行が計68.1%、就労Bは計61.9%だった。就労Bは利用率0~50%の割合も10.7%で3事業の中で唯一10%を超えている(就労A:4.3%、就労移行:7.2%)

利用率

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0%~10%	2	0.2%	5	0.2%	3	0.5%
11%~20%	2	0.2%	3	0.1%	4	0.7%
21%~30%	2	0.2%	21	0.7%	4	0.7%
31%~40%	10	1.2%	69	2.3%	7	1.2%
41%~50%	19	2.3%	220	7.4%	25	4.2%
51%~60%	45	5.5%	342	11.5%	60	10.1%
61%~70%	83	10.1%	476	16.0%	87	14.6%
71%~80%	156	19.0%	612	20.5%	147	24.7%
81%~90%	227	27.6%	689	23.1%	118	19.8%
91%~100%	276	33.6%	542	18.2%	140	23.5%
計	822	100.0%	2,979	100.0%	595	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

利用者の平均利用年数は、就労継続支援 A 型では 10 年以内が90%以上など、どの事業でも多くなっているが、就労継続支援 B 型になると平均 20 年以上という事業所も 5.5%あった。就労移行支援では、事業の制度上の枠組みによるものと思われる 2 年以内という回答が 86.7%と多くなっている。

## Q9.利用者について <平均利用年数>

- 就労A・就労移行では10年以内が90%前後で大半となっている
- 就労Bでは10年以内が76%を占めるが、平均20年以上という事業所も5.5%ある

利用者について 平均利用年数(年)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1	92	11.3%	228	8.0%	258	43.5%
2	102	12.5%	255	9.0%	197	33.2%
3	119	14.6%	290	10.2%	18	3.0%
4	126	15.5%	254	8.9%	10	1.7%
5	96	11.8%	248	8.7%	8	1.3%
6	74	9.1%	214	7.5%	8	1.3%
7	35	4.3%	198	7.0%	10	1.7%
8	34	4.2%	186	6.6%	10	1.7%
9	19	2.3%	134	4.7%	11	1.9%
10	26	3.2%	158	5.6%	10	1.7%
11	11	1.4%	105	3.7%	9	1.5%
12	14	1.7%	76	2.7%	5	0.8%
13	7	0.9%	66	2.3%	10	1.7%
14	4	0.5%	55	1.9%	5	0.8%
15	6	0.7%	71	2.5%	0	0.0%
16	2	0.2%	41	1.4%	6	1.0%
17	6	0.7%	41	1.4%	3	0.5%
18	7	0.9%	30	1.1%	2	0.3%
19	7	0.9%	31	1.1%	1	0.2%
20	2	0.2%	24	0.8%	3	0.5%
21~	24	3.0%	133	4.7%	9	1.5%
計	813	100.0%	2,838	100.0%	593	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

利用者の平均年齢は、就労継続支援 A 型では25～50歳に95%弱が集中している。就労継続支援 B 型では平均 30 歳以上という回答が多く、特に 30～50 歳に80%弱が集中し、50 歳以上という回答も15%程度あった。

就労移行支援では、18～40歳という事業所が90%となっており、他 2 つよりも平均年齢が若い傾向がある。

## Q9.利用者について <利用者の平均年齢>

- 就労Aでは、25～50歳が95%弱が集中している
- 就労Bでは、平均30歳以上という回答が多く、特に30～50歳に80%弱が集中し、50歳以上という回答も15%程度あった
- 就労移行では、18～40歳という事業所が90%となっており、他2つよりも平均年齢が若い傾向がある

利用者について 利用者の平均年齢(歳)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0～18	3	0.4%	10	0.3%	8	1.3%
18～25	3	0.4%	49	1.7%	141	23.2%
25～30	40	4.8%	125	4.2%	167	27.5%
30～35	96	11.5%	343	11.6%	153	25.2%
35～40	214	25.7%	577	19.6%	87	14.3%
40～45	293	35.2%	775	26.3%	34	5.6%
45～50	146	17.5%	631	21.4%	15	2.5%
50～	37	4.4%	437	14.8%	2	0.3%
計	832	100.0%	2,947	100.0%	607	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

・ 一般就労希望者数

就労移行支援では、事業の性質からか 21 名以上という回答が16.1%あった。就労継続支援 A 型・B 型では 5 名以下が比較的多かったが、就労継続支援 A 型では 21 名以上という回答も5.1%あり、定員数の分布と比較してみても A 型から一般就労を目指す希望者が多い事業所も一定数あることがわかった。

## Q10.一般就労希望者数

- 就労A・Bでは、5名以下が比較的多いが、Aでは21名以上という回答も5.1%あった
- 就労移行では、事業の性質からか21名以上という回答が16.1%あった

一般就労希望者数 一般就労希望者数						
回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	106	12.1%	943	32.1%	74	10.5%
1	86	9.8%	543	18.5%	55	7.8%
2	141	16.1%	431	14.7%	51	7.3%
3	81	9.2%	282	9.6%	47	6.7%
4	63	7.2%	155	5.3%	41	5.8%
5	60	6.8%	143	4.9%	25	3.6%
6	48	5.5%	89	3.0%	44	6.3%
7	35	4.0%	71	2.4%	27	3.8%
8	30	3.4%	48	1.6%	29	4.1%
9	15	1.7%	26	0.9%	24	3.4%
10	33	3.8%	56	1.9%	20	2.8%
11	27	3.1%	23	0.8%	17	2.4%
12	20	2.3%	23	0.8%	17	2.4%
13	16	1.8%	11	0.4%	11	1.6%
14	13	1.5%	8	0.3%	13	1.9%
15	14	1.6%	13	0.4%	13	1.9%
16	13	1.5%	5	0.2%	13	1.9%
17	10	1.1%	5	0.2%	11	1.6%
18	9	1.0%	7	0.2%	22	3.1%
19	2	0.2%	3	0.1%	15	2.1%
20	11	1.3%	9	0.3%	20	2.8%
21~	45	5.1%	42	1.4%	113	16.1%
計	878	100.0%	2,936	100.0%	702	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

・ 直近 2 年間の利用終了者の移行先と人数

就労継続支援 A 型からの移行先としては、一般就労が最も多く、次いで他の就労継続支援 A 型・B 型となっており、移行した人数は、おおむね 5 名以内が多い。

就労継続支援 B 型では、他の就労継続支援 B 型へ移動するケースが最も多く、次いで一般就労、在宅となっており、就労移行支援への移動は最も少ない。

就労移行支援では、こちらも事業の性質によるところが大きいと思われるが、一般就労の件数が最も多く、次いで就労継続支援 B 型、A 型の順となっている。

### Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労Aから>

- 移行先の件数としては、一般就労が最も多く、次いで他のA型、B型となっている
- 移行した人数は、おおむね5名以内が多い

直近2年間の利用終了者の移行先と人数

就労Aから	一般就労	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	180	68	158	168	16	103	109	74	105
2	129	10	68	81	2	38	69	56	29
3	82	3	33	38	1	11	35	40	19
4	41	2	22	23	1	1	23	26	12
5	44	2	18	13	0	0	28	24	8
6~10	43	0	17	14	0	0	35	39	16
11~20	7	0	1	1	0	0	6	21	10
21~	1	0	0	0	0	0	0	5	3
計	527	85	317	338	20	153	305	285	202

### Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労Bから>

- 移行先の件数としては、他のB型が最も多く、次いで一般就労、在宅となっており、就労移行へは最も少ない
- 移行した人数は、おおむね4名以内が多い

直近2年間の利用終了者の移行先と人数 (就労Bから)

就労Bから	一般就労	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	490	201	365	622	432	423	437	254	493
2	245	68	135	346	147	148	269	110	196
3	83	24	39	191	44	42	142	76	100
4	41	12	18	118	28	20	88	37	54
5	26	8	9	71	12	10	54	20	26
6~10	28	7	4	100	16	8	74	46	47
11~20	6	2	1	28	5	1	16	16	10
21~	0	0	0	9	2	0	3	5	1
計	919	322	571	1,485	686	652	1,083	564	927

## Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労移行から>

- 移行先の件数としては、一般就労が最も多く、次いで就労B、就労Aの順となっている
- 移行した人数は、一般就労では広く分布しており、就労B・Aでは4～5名以内が多い

直近2年間の利用終了者の移行先と人数 (就労移行から)

就労移行から	一般就労	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	56	75	113	121	19	60	68	49	78
2	62	21	57	85	4	13	38	17	31
3	40	5	23	52	1	1	31	10	21
4	43	5	14	39	0	3	8	10	11
5	34	2	4	23	1	2	18	12	6
6~10	118	3	7	42	0	0	24	15	17
11~20	124	1	0	9	0	0	12	9	14
21~	88	3	0	1	0	0	2	2	4
計	565	115	218	372	25	79	201	124	182

### 職員数について

各事業所の職員数に関しては、どの事業でも10名以下の事業所が大半となっており、賃金(工賃)向上達成指導員数については1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はどの事業でもほぼない。生産活動専門職員数に関しては、就労継続支援A型と就労移行支援では1名配置がほとんどで、就労継続支援B型のみ5名程度のところまであり若干多い傾向があった。

## Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労A>

- 支援員数は、3～7名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数、生産活動専門職員数は1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はほぼない

就労A	支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)
1	12	476	83
2	41	36	21
3	136	3	6
4	181	2	5
5	156	1	4
6	110	1	1
7	102	0	1
8	48	0	0
9	35	0	3
10	23	0	0
11	14	0	0
12	9	0	0
13	5	0	0
14	6	0	0
15	2	0	0
16	2	0	0
17	3	0	0
18	0	0	0
19	1	0	0
20	0	0	0
21~	3	0	0
計	889	519	124

## Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労B>

- 支援員数は、2～9名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数は1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はほぼない
- 生産活動専門職員数は1～2名配置の事業所が多く、ほぼ5名以内となっている

就労B	支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)
1	30	1,847	457
2	190	187	117
3	587	19	51
4	659	10	22
5	507	5	10
6	341	1	6
7	278	1	2
8	195	1	1
9	115	1	1
10	65	1	3
11	26	1	0
12	28	0	0
13	25	0	1
14	14	0	0
15	11	0	1
16	11	0	0
17	7	0	0
18	1	0	2
19	2	0	0
20	0	0	0
21～	8	1	0
計	3,100	2,075	674

## Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労移行>

- 支援員数は、3～6名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数は1名配置が5件、全体でも7件と少ない
- 生産活動専門職員数は1名配置の事業所がほとんどで、5名以上は0となっている

就労移行	支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)
1	9	5	48
2	51	0	5
3	112	1	3
4	173	0	1
5	115	1	0
6	112	0	0
7	59	0	0
8	36	0	0
9	19	0	0
10	2	0	0
11	3	0	0
12	10	0	0
13	1	0	0
14	3	0	0
15	2	0	0
16	0	0	0
17	0	0	0
18	0	0	0
19	0	0	0
20	0	0	0
21～	0	0	0
計	707	7	57

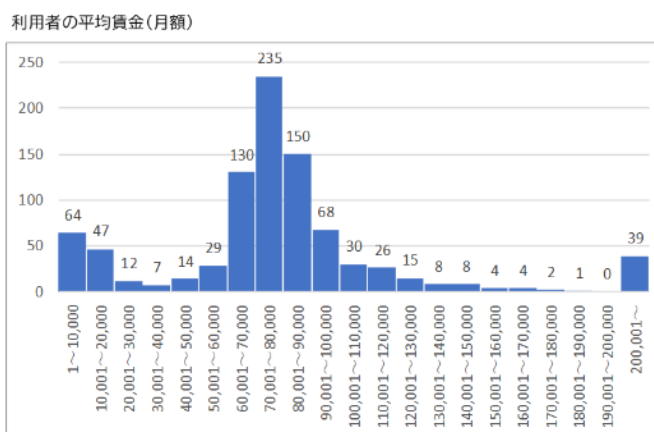
- ・ 利用者の平均賃金(月額) (就労継続支援 A 型のみ回答)
 

70,001円～80,000 円が 25.7%と最も多く、6～8 万円の間全体に全体の 65%弱が集中しているが、20 万/月を超える事業所も 4.3%(39 件)ある。一方、1～10,000 円という事業所が 7.0%(64 件)、1～30,000 円で合計すると、123 件(13.4%)あった。なお、0 以下という回答は、0 という回答及び無回答を含んでいる。

### Q13.利用者の平均賃金(月額)(就労継続支援A型のみ回答) R3年度実績

- 70,001円～80,000円が25.7%と最も多く、6～8万円の間に全体の65%弱が集中している
- 20万/月を超える事業所も4.3%(39件)ある一方、1万/月以下も7.0%(64件)あった

回答	件数	構成比
0以下	21	2.3%
1～10,000	64	7.0%
10,001～20,000	47	5.1%
20,001～30,000	12	1.3%
30,001～40,000	7	0.8%
40,001～50,000	14	1.5%
50,001～60,000	29	3.2%
60,001～70,000	130	14.2%
70,001～80,000	235	25.7%
80,001～90,000	150	16.4%
90,001～100,000	68	7.4%
100,001～110,000	30	3.3%
110,001～120,000	26	2.8%
120,001～130,000	15	1.6%
130,001～140,000	8	0.9%
140,001～150,000	8	0.9%
150,001～160,000	4	0.4%
160,001～170,000	4	0.4%
170,001～180,000	2	0.2%
180,001～190,000	1	0.1%
190,001～200,000	0	0.0%
200,001～	39	4.3%
計	914	100.0%





・ A型スコア

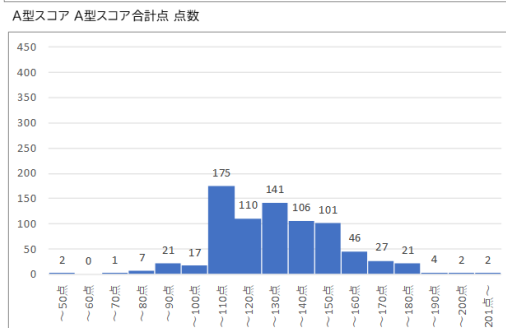
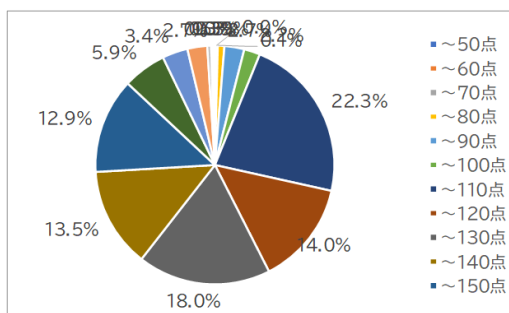
A型スコア点数の回答から、就労継続支援A型での平均労働時間は、4h～4.5h/日が約半数の51.4%、4h～6h/日に全体の85%弱が集中していた。生産活動の収支状況については、過去2年度連続赤字(収支<賃金総額)という事業所が最も多く41.3%だったことは注目すべき点で、次いで過去2年度連続黒字(収支>賃金総額)が39.9%となっており、年次的に一定程度コロナ禍の影響もあるかもしれないが、赤字・黒字が二極化している状況が見て取れた。

また、地域連携活動については、75%以上の事業所が実施しているという回答だった。

### Q13.A型スコア <合計点>

● ~110点の回答が22.3%で最も多く、110~150点の回答が全体の80.8%を占める

回答	件数	構成比
~50点	2	0.3%
~60点	0	0.0%
~70点	1	0.1%
~80点	7	0.9%
~90点	21	2.7%
~100点	17	2.2%
~110点	175	22.3%
~120点	110	14.0%
~130点	141	18.0%
~140点	106	13.5%
~150点	101	12.9%
~160点	46	5.9%
~170点	27	3.4%
~180点	21	2.7%
~190点	4	0.5%
~200点	2	0.3%
201点~	2	0.3%
計	783	100.0%

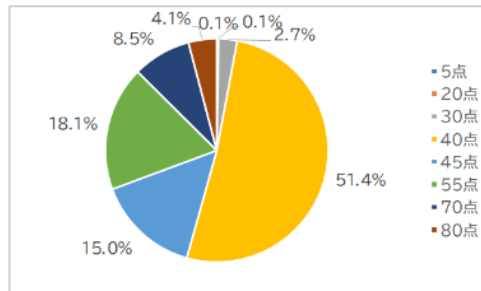


### Q13.A型スコア 項目点 < I 平均労働時間、II 生産活動 >

- 平均労働時間は、40点(4~4.5h/日)が約半数の51.4%、40~55点(4~6h/日)に全体の85%弱が集中している
- 生産活動は、5点(過去2年度連続 収支<賃金総額)が最も多く41.3%、次いで40点(過去2年度連続 収支>賃金総額)が39.9%となっており、二極化している

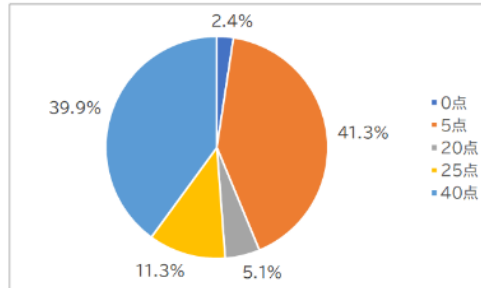
A型スコア (I) 平均労働時間 項目点 点数

回答	件数	構成比
5点	1	0.1%
20点	1	0.1%
30点	21	2.7%
40点	401	51.4%
45点	117	15.0%
55点	141	18.1%
70点	66	8.5%
80点	32	4.1%
計	780	100.0%



A型スコア (II) 生産活動 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	19	2.4%
5点	327	41.3%
20点	40	5.1%
25点	89	11.3%
40点	316	39.9%
計	791	100.0%

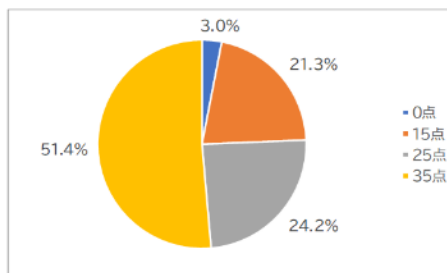


### Q13.A型スコア 項目点 < III 多様な働き方、IV 支援力向上 >

- 多様な働き方では、35点(8以上)が51.4%と半数を占める
- 支援力向上では、15点(1~5)が40.5%で最も多く、次いで25点・30点がともに30%弱となっている

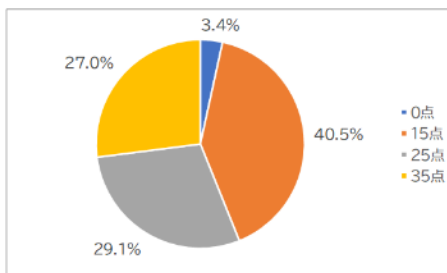
A型スコア (III) 多様な働き方 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	24	3.0%
15点	168	21.3%
25点	191	24.2%
35点	405	51.4%
計	788	100.0%



A型スコア (IV) 支援力向上 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	27	3.4%
15点	319	40.5%
25点	229	29.1%
35点	213	27.0%
計	788	100.0%

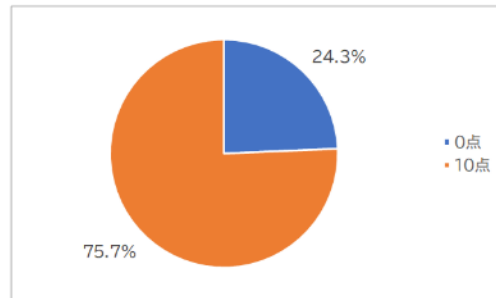


## Q13.A型スコア 項目点 <V地域連携活動>

- 地域連携活動は、75%以上の事業所が10点となっている

A型スコア(V)地域連携活動 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	190	24.3%
10点	591	75.7%
計	781	100.0%



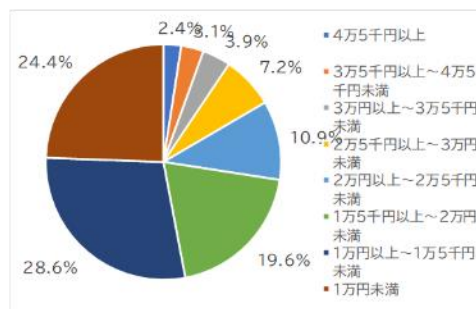
- ・ 利用者の平均工賃(月額) (就労継続支援B型のみ回答)  
 平均工賃は、1万5千円未満が53.0%と半数を超え、3万円以上の事業所は10%弱であった。  
 報酬体系に関しては、約6割が平均工賃月額に応じた報酬体系を選択している。

## Q14.利用者の平均工賃(月額)(就労継続支援B型のみ回答) R3年度実績

- 平均工賃は、1万5千円未満が53.0%と半数を超え、3万円以上は10%弱
- 報酬体系は、約6割が平均工賃月額に応じた報酬体系を選択している

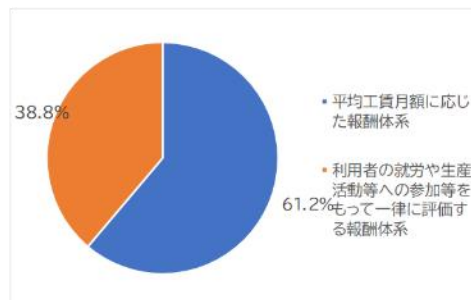
Q14.利用者の平均工賃(月額)(就労継続支援B型のみ回答して下さい)

回答	件数	構成比
4万5千円以上	76	2.4%
3万5千円以上~4万5千円未満	96	3.1%
3万円以上~3万5千円未満	121	3.9%
2万5千円以上~3万円未満	223	7.2%
2万円以上~2万5千円未満	338	10.9%
1万5千円以上~2万円未満	609	19.6%
1万円以上~1万5千円未満	889	28.6%
1万円未満	760	24.4%
計	3,112	100.0%



選択している報酬体系

回答	件数	構成比
平均工賃月額に応じた報酬体系	1,878	61.2%
利用者の就労や生産活動等への参加等をもって一律に評価する報酬体系	1,192	38.8%
計	3,070	100.0%



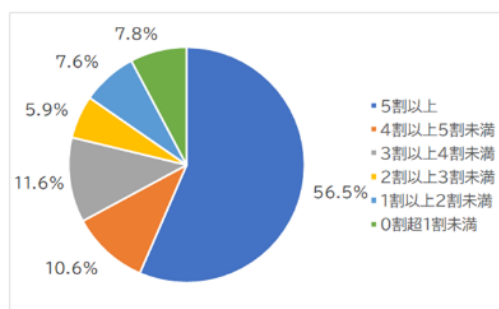
- ・ 就労定着率（就労移行支援のみ回答）

就労定着率は、5割以上が56.5%で半数以上の回答を占めたが、1割台にとどまっている事業所が7.8%(46件)あった。

## Q15.就労定着率(就労移行支援のみ回答) R3年度実績

- 就労定着率は、5割以上が56.5%で半数以上の回答を占めたが、1割台にとどまっている事業所が7.8%(46件)あった

回答	件数	構成比
5割以上	335	56.5%
4割以上5割未満	63	10.6%
3割以上4割未満	69	11.6%
2割以上3割未満	35	5.9%
1割以上2割未満	45	7.6%
0割超1割未満	46	7.8%
計	593	100.0%

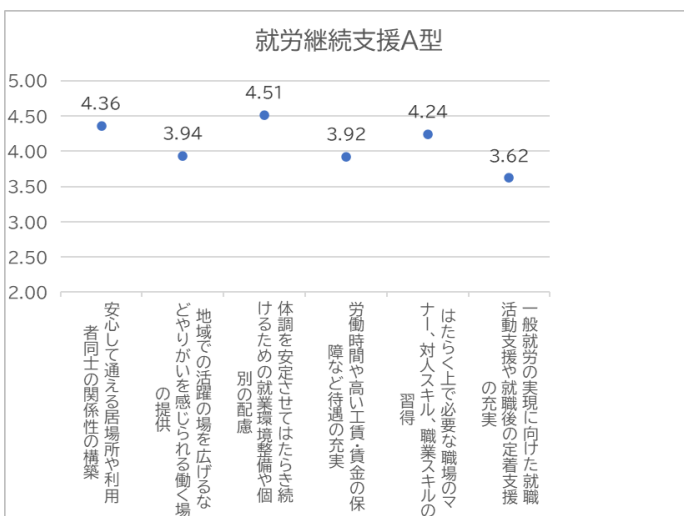
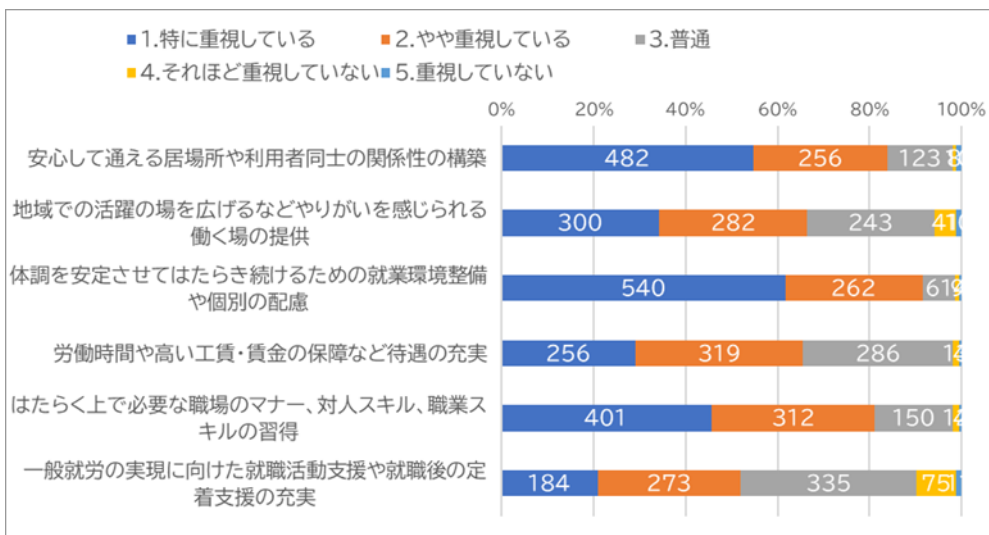


- ・ 利用者への支援方針として事業所として重視する事項

就労継続支援 A 型では、加重平均で見た場合「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」4.51pt で最も高く、次いで「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が 4.36pt、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が 4.24pt となっており、利用者が職場で安心・安定してはたらき続けられるための支援が重視されていることがわかる。

## Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労A>

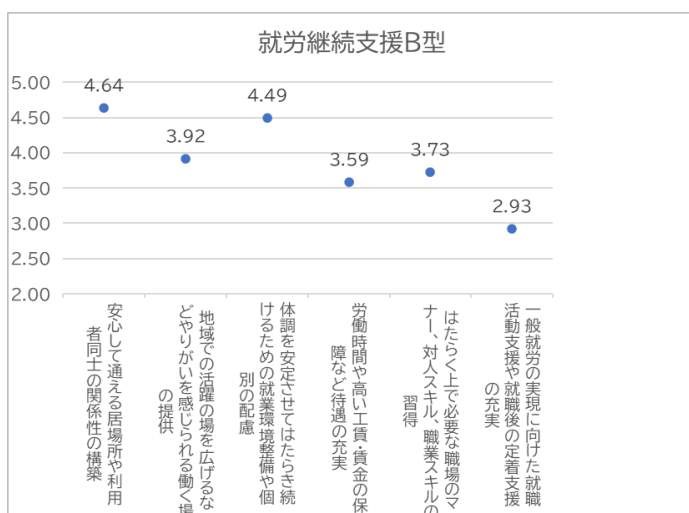
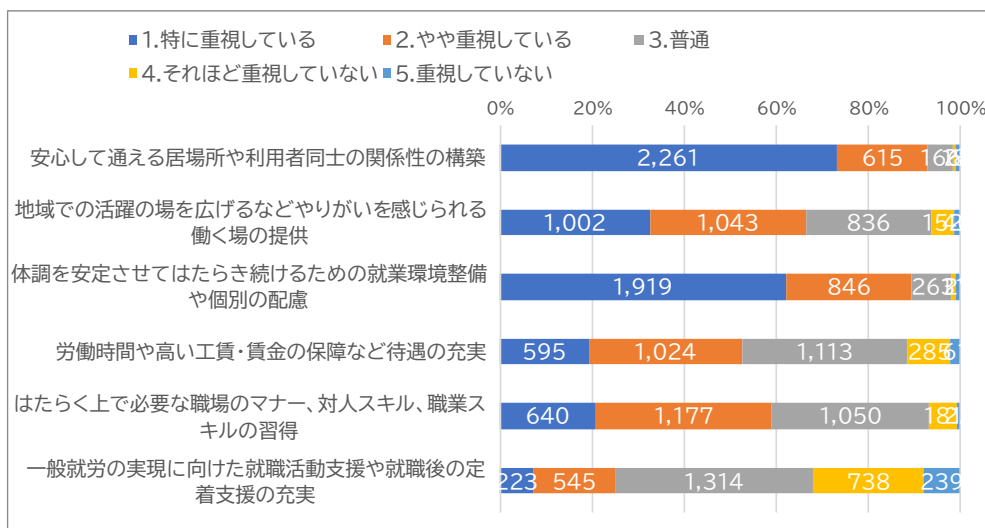
- 就労Aでは、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」が1. (特に重視している)と2.(やや重視している)の割合が91.6%で最も多く、次いで「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が84.0%、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が81.1%となっており、利用者が職場で安心・安定してはたらき続けられるための支援が重視されている
- 一方で、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」は3. (普通)以下の割合が50%弱となっており、それほど重視している事業所が多くないという結果となった



就労継続支援 B 型では、加重平均で見た場合「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」4.64pで最も高く、次いで「体調を安定させてはたらし続けるための就業環境整備や個別の配慮」が 4.49pとこの 2 項目が特に高い。一方、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」2.93pと、就労 B では他の場所への就職に関する支援はあまり重視している事業所がないという結果となった。

## Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労B>

- 就労Bでは、「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が回答1.と2.の割合が93.1%、「体調を安定させてはたらし続けるための就業環境整備や個別の配慮」が89.7%と突出して高い
- 一方、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」は3.（普通）以下の割合が約75%となっており、就労Bでは他の場所への就職に関する支援はあまり重視している事業所がないという結果となった

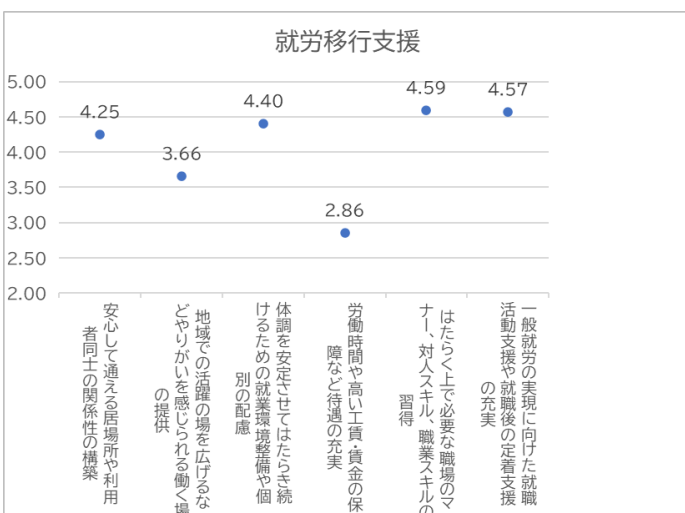
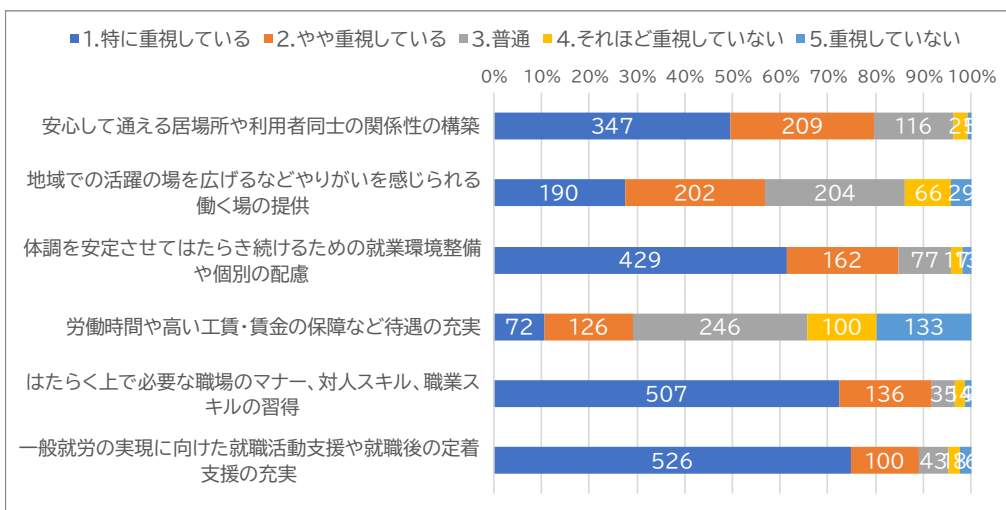


就労移行では、加重平均で見ると「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が4.59p、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」が4.57pと高く、やはり就職に向けた支援が特に重視されている。

そのほか、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」(4.4p)や「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」(4.25p)も高く、事業所内ではたらく環境整備についてもよく重視されている項目であることがわかる。

## Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労移行>

- 就労移行では、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」の回答1.と2.の割合が91.7%で最も多く、次いで「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」が89.0%となっており、やはり就職に向けた支援が特に重視されている
- そのほか、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」(84.7%)や「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」(79.7%)も多く、事業所内ではたらく環境整備についてもよく重視されている項目であることがわかった



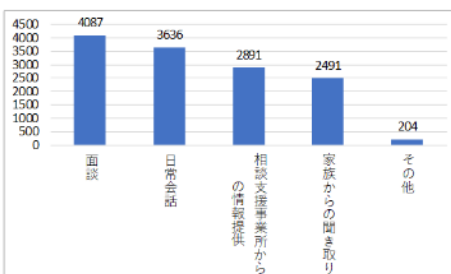
- 個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか  
希望の確認方法(複数回答)は面談が最も多く30.7%、次いで日常会話が27.3%となっており、面談の頻度では「半年に1回程度」が54.3%で最も多かった。半年という期間は制度上のモニタリングのタイミングであることが多いため、個別支援計画の更新とあわせ、希望を確認しているものと思われる。

## Q17.個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか

- 希望の確認方法(MA)は面談が最も多く30.7%、次いで日常会話27.3%となっており、面談の頻度では「半年に1回程度」が54.3%で最も多かった(半年=モニタリング時期)

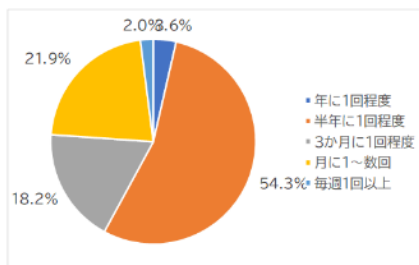
Q17.個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか当てはまるもの全て選択して下さい。

回答	件数	構成比
面談	4087	30.7%
日常会話	3636	27.3%
相談支援事業所からの情報提供	2891	21.7%
家族からの聞き取り	2491	18.7%
その他	204	1.5%
計	13,309	100.0%



→面談を選択された方のみ回答して下さい。頻度を選択して下さい。

回答	件数	構成比
年に1回程度	147	3.6%
半年に1回程度	2226	54.3%
3か月に1回程度	744	18.2%
月に1~数回	896	21.9%
毎週1回以上	83	2.0%
計	4,096	100.0%

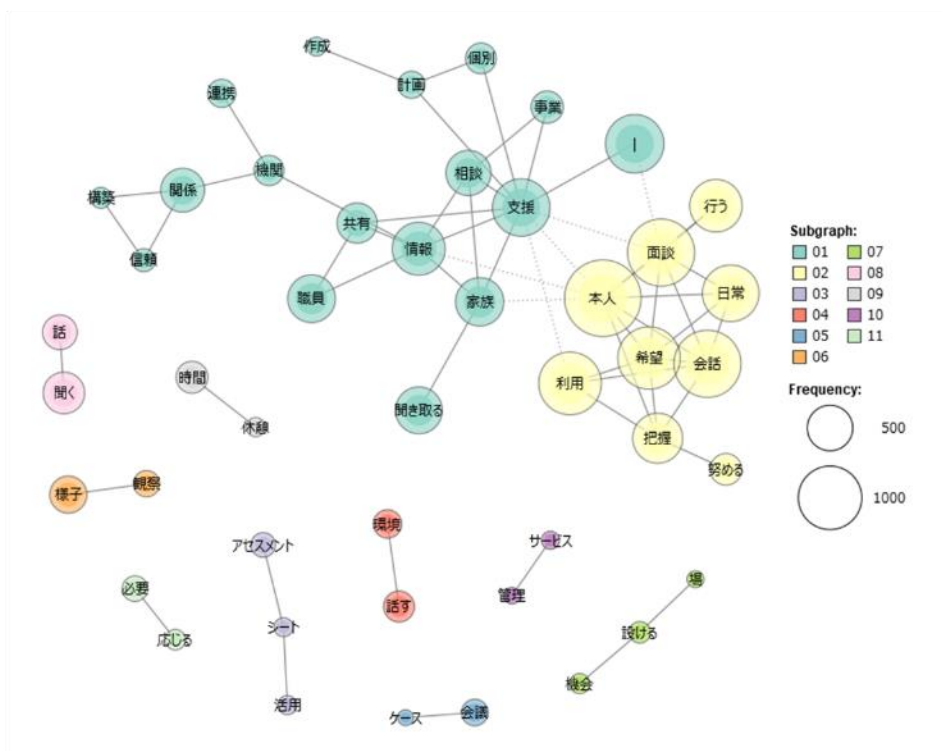




- ・ 利用者の希望について、明確に表出されていないものも含めて、的確に本人の希望を把握するための工夫(自由回答)

回答数が 3,421 件と多大な数があるため、以下にはテキストマイニングによる集計結果を示した。円の大きいものでキーワードの数の多さを視覚的に示し、各ワードの関係性を線で示しているが、この中では、「本人」に関連し「面談」「希望」「利用」「把握」に、「日常」「会話」が関連し、面談や日常会話で希望の把握をしていることや、「家族」「職員」「共有」などから「情報」が聞き取られていることや、関係機関からの情報共有などもあるように示されている。

### Q18.利用者の希望について、明確に表出されていないものも含めて、的確に本人の希望を把握するための工夫



- ・ 利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか

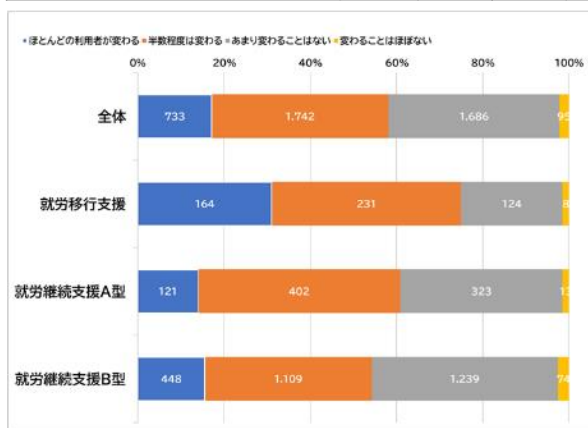
就労移行支援では、「ほとんどの利用者が変わる」と「半数程度は変わる」の合計が733件(74.9%)と多くなっている。就労継続支援A型及びB型でも「半数程度は変わる」は4割程度あったが、「あまり変わることがない」も同様に4割程度ある結果となっている。

### Q19.利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか

- 就労移行では「ほとんどの利用者が変わる」と「半数程度は変わる」の合計が74.9%と多くなっている。就労A・Bでも「半数程度は変わる」は4割程度あったが、「あまり変わることがない」も同様に4割程度ある結果となっている

Q19.利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか回答して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ほとんどの利用者が変わる	733	17.2%	164	31.1%	121	14.1%	448	15.6%
半数程度は変わる	1,742	40.9%	231	43.8%	402	46.8%	1,109	38.6%
あまり変わることがない	1,686	39.6%	124	23.5%	323	37.6%	1,239	43.2%
変わることがない	95	2.2%	8	1.5%	13	1.5%	74	2.6%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ 個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか

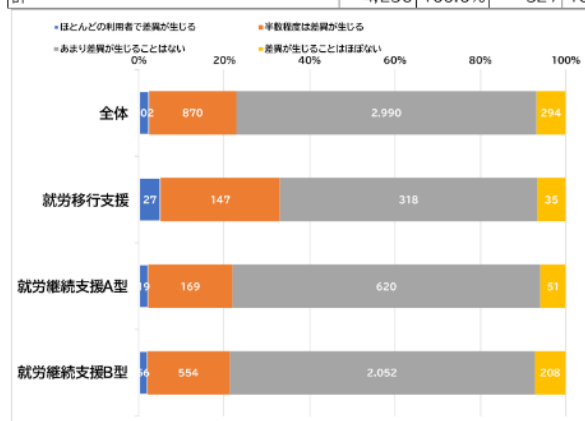
就労移行支援では、差異が生じてる割合が3割程度と他の2事業よりも10%程度多い。全体としては「あまり差異が生じることはない」が多く、70.3%と最も多かった。

## Q20.個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか

- 就労移行では差異が生じてる割合が3割程度と他の2事業よりも10%程度多い。全体では「あまり差異が生じることはない」が70.3%と最も多かった

Q20.個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか回答して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ほとんどの利用者に差異が生じる	102	2.4%	27	5.1%	19	2.2%	56	2.0%
半数程度は差異が生じる	870	20.4%	147	27.9%	169	19.7%	554	19.3%
あまり差異が生じることはない	2,990	70.3%	318	60.3%	620	72.2%	2,052	71.5%
差異が生じることはほぼない	294	6.9%	35	6.6%	51	5.9%	208	7.2%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

就労継続支援 A 型及び B 型の傾向はほぼ同じで「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が 7 割超程度だが、就労移行支援のみ同割合が 85%を超えており、支援の見直しを行っている事業所の割合が比較的多い傾向が見られる。

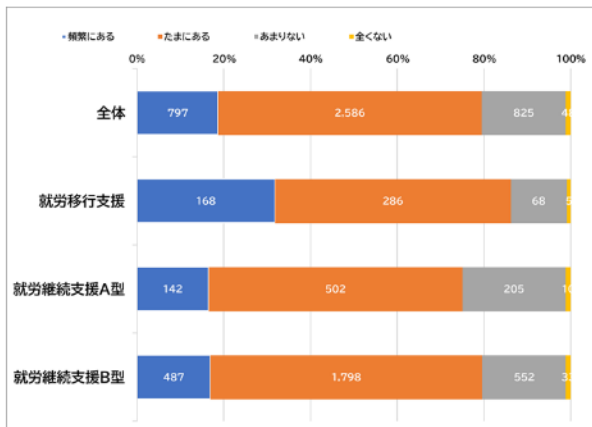
**Q21.<利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>**

希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

● 就労A・Bの傾向はほぼ同じだが、就労移行のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が85%を超えている

Q21.利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について  
希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	797	18.7%	168	31.9%	142	16.5%	487	17.0%
たまにある	2,586	60.8%	286	54.3%	502	58.4%	1,798	62.6%
あまりない	825	19.4%	68	12.9%	205	23.9%	552	19.2%
全くない	48	1.1%	5	0.9%	10	1.2%	33	1.1%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

就労継続支援 A 型及び B 型の傾向はほぼ同じで「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が 7 割超程度だが、就労移行支援のみ同割合が 85%を超えており、他機関協働により対応している事業所の割合が比較的多い傾向が見られる。

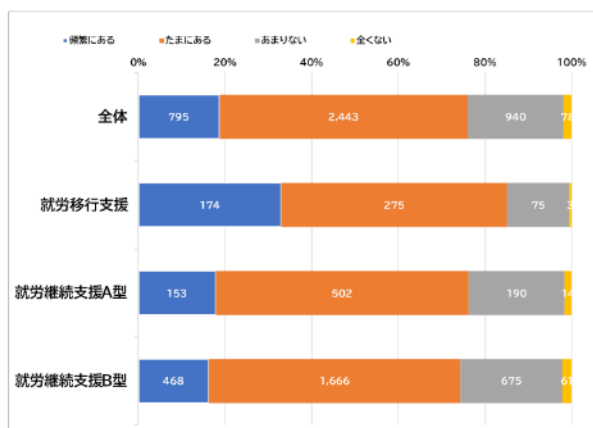
**Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>**

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

- **就労A・Bの傾向はほぼ同じだが、就労移行のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が85%を超え、他機関協働により対応している事業所が多いことが伺える**

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	795	18.7%	174	33.0%	153	17.8%	468	16.3%
たまにある	2,443	57.4%	275	52.2%	502	58.4%	1,666	58.0%
あまりない	940	22.1%	75	14.2%	190	22.1%	675	23.5%
全くない	78	1.8%	3	0.6%	14	1.6%	61	2.1%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が86.2%あり、大部分が既存の支援の枠内で対応できている状況という回答だった。中でも、就労移行支援では92.1%と高く、既存の支援の枠組みで多くの希望に対し対応できているという結果となった。

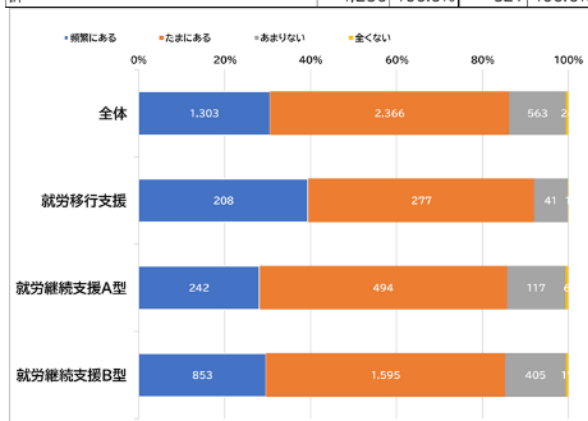
**Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>**

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

- 全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が86.2%あり、大部分が既存の支援の枠内で対応できている状況という回答だった
- 就労移行のみ9割弱でほとんどが対応できているという結果となった

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	1,303	30.6%	208	39.5%	242	28.2%	853	29.7%
たまにある	2,366	55.6%	277	52.6%	494	57.5%	1,595	55.6%
あまりない	563	13.2%	41	7.8%	117	13.6%	405	14.1%
全くない	24	0.6%	1	0.2%	6	0.7%	17	0.6%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

全体では「頻繁にある」という回答は3.0%と少なく、「たまにある」が48.4%と最も多かった。一方、「あまりない」以下も合わせて48.7%と半数程度あり、事業所として対応できないと判断する場面はそれほど多くないということが推定できる。

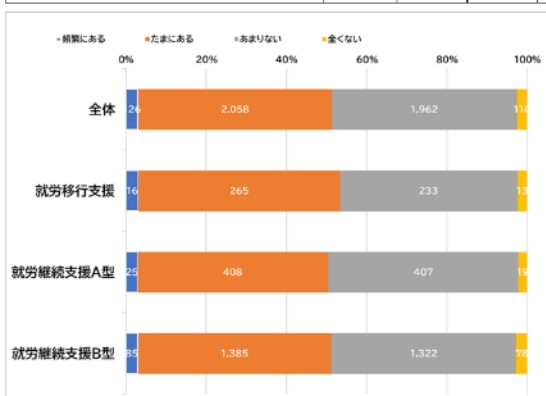
**Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>**

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

● 全体では「頻繁にある」という回答は3.0%と少なく、「たまにある」が48.4%と最も多かった。一方、「あまりない」以下も合わせて48.7%と半数程度あった

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	126	3.0%	16	3.0%	25	2.9%	85	3.0%
たまにある	2,058	48.4%	265	50.3%	408	47.5%	1,385	48.3%
あまりない	1,962	46.1%	233	44.2%	407	47.4%	1,322	46.1%
全くない	110	2.6%	13	2.5%	19	2.2%	78	2.7%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答は25.3%でそれほど多くない一方、「全くない」が19.0%(809件)あり、希望が実現されなくても事業所を移るまで至っていないケースが多いと思われる。この中では、就労移行支援のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が3割弱と若干多い傾向が出ている。

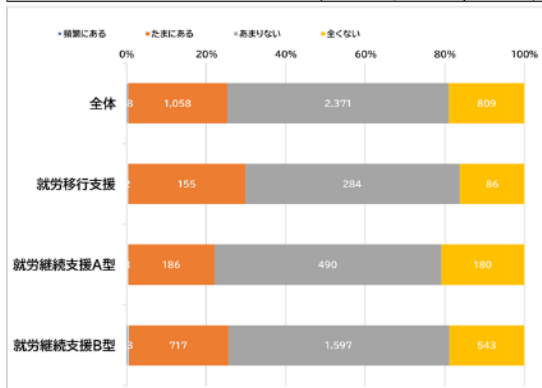
**Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>**

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

● 全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答は25.3%でそれほど多くない一方、「全くない」が19.0%(809件)あり、希望が実現されなくても事業所を移るまで至っていないケースが多いと思われる。就労移行のみ3割弱と若干多い

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	18	0.4%	2	0.4%	3	0.3%	13	0.5%
たまにある	1,058	24.9%	155	29.4%	186	21.7%	717	25.0%
あまりない	2,371	55.7%	284	53.9%	490	57.0%	1,597	55.6%
全くない	809	19.0%	86	16.3%	180	21.0%	543	18.9%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%

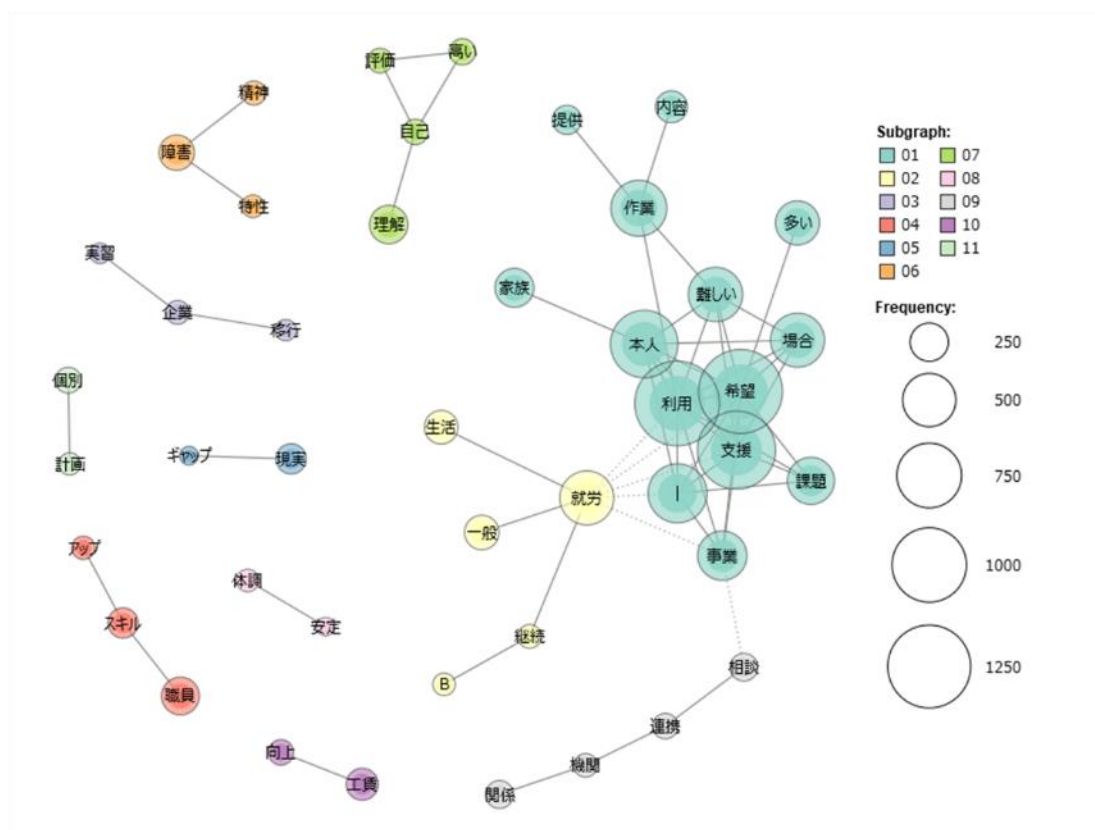




- ・ 利用者の希望に応じた支援を実施する上での課題(自由回答)

回答数が2,436件と多大な数があるため、以下にはテキストマイニングによる集計結果を示した。円の大きいものでキーワードの数の多さを視覚的に示し、各ワードの関係性を線で示しているが、この中では、「本人」に関連し「支援」「希望」「利用」に、「作業」「内容」「提供」「課題」「難しい」などがつながり、その外延に「連携」「機関」などで事業所外への「相談」があるように見られる。そのほか、自己理解・評価と言ったワードや現実・ギャップ、体調・安定など本人自身の課題と思われるデータが分布している。

## Q22.利用者の希望に応じた支援を実施する上での課題



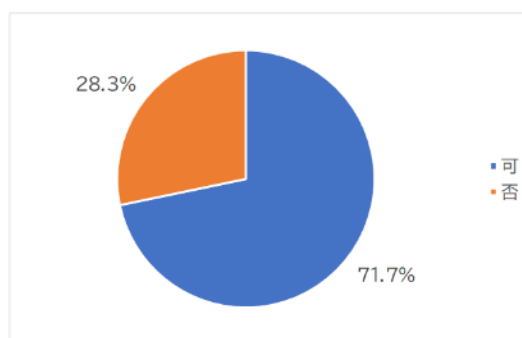
- 「利用者向け調査」への協力可否  
「利用者向け調査」への協力可否 71.7%の事業所が「可」と回答があった。この中から、次項の利用者調査への協力依頼をセグメント別に無作為抽出し 874 事業所へ送付した。

## Q23. 「利用者向け調査」への協力可否

- 71.7%の事業所が「可」と回答  
→ 利用者調査協力依頼先(送付数)：874事業所

Q23. 今回調査終了後、無作為抽出で選ばれた利用者の方(1事業所当たり5名以内の予定)を対象に、利用者向け調査を予定しています。

回答	件数	構成比
可	3053	71.7%
否	1203	28.3%
計	4,256	100.0%



### 3.2.2 利用者調査

#### <調査仕様>

- 調査方法:【利用者調査票】紙面または Web アンケート方式  
【利用者情報票】 Web アンケート方式(対象利用者に関する属性情報等を協力事業所に対し提供依頼)
- 調査対象(抽出方法)
  - ① 事業所調査において利用者調査への協力可否について「可」の回答だった 3,053 事業所のうち、事業種別+利用者の主な障害種別(身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病)でセグメント分け
  - ② 回答に協力いただく利用者を事業所が恣意的に指定できないよう、上記セグメント別に 1 事業所当たり 1~7 名の調査対象利用者を、事業所調査で収集した利用者 ID から無作為抽出
- 連絡方法:【利用者調査票】上記対象者が利用する事業所 874 カ所を通じて本人宛に依頼文等を配布(事業所より手渡しまたは郵送)  
【利用者情報票】上記利用者調査の依頼に合わせ、協力事業所に対し情報提供を依頼
- 調査期間:2022/11/7(月)~2022/11/25(金)
- 配布数: 874 事業所 3,397 人
- 回収数(回収率):2,022 件(59.5%)
- 調査内容  
【利用者調査票】
  - ◇ Q1~Q6:基本情報
    - ・ 事業所番号、利用者 ID、事業種別、年代、性別、居住状況
  - ◇ Q7~Q10:利用の経緯等について
    - ・ 直近の通所先、利用の経緯・理由、利用開始当初のウォンツ
  - ◇ Q11~Q15:現在の仕事等について
    - ・ 現在のウォンツ、現在の仕事・訓練、仕事に対する支援、支援に対する満足度、希望する支援
  - ◇ Q16~24:賃金・工賃、勤務時間について
    - ・ 1週当たりの労働日数、1日当たりの労働時間、調査前月の工賃・賃金の額、障害年金の等級、労働時間に対する満足度、希望する労働日数・時間、工賃・賃金に対する満足度、希望する工賃・賃金の額
  - ◇ Q25~27:一般就労に向けた支援について
    - ・ 一般就労に向けて受けている支援、支援に対する満足度、希望する支援

- ◇ Q28～30:体調管理や人間関係などの支援について
  - ・ 体調管理や人間関係などに関して受けている支援、支援に対する満足度、希望する支援
- ◇ Q31～35:事業所での居場所や仲間づくりについて
  - ・ 現事業所は自分らしく過ごせる居場所だと思うか、事業所や同僚への信頼感、居場所づくり・仲間づくりに関して受けている支援、支援に対する満足度、希望する支援
- ◇ Q36～37:現在の事業所に対する印象について
  - ・ 事業所への相談の有無・頻度・対応、相談の希望、現在の事業所に通ってよかったと思うか・その理由、利用者自身の変化
- ◇ Q39～41:今後の希望について
  - ・ 就労に関する今後の希望・実現したい時期・実現したいこと、就労を通じてできるようになりたいこと、今後希望する暮らし
- ◇ Q41～42:アンケートの回答方法
  - ・ アンケートの回答方法、補助者、支援の度合い

## ◆ 調査結果

### 事業種別・年齢・性別

回答利用者の利用している事業種別は、就労継続支援 A 型・B 型がともに700件弱で40%弱ずつ、就労移行が400件強となった。

回答者の年齢は、全体と就労継続支援 A 型では 20～64 才に約9割が集中しているが、就労移行支援では 18～59 才に 98.8%、就労継続支援 B 型では 20～64 才が 85.0%で、65歳以上に 13.1%と、事業によりコアの年齢層が異なる結果となっている。

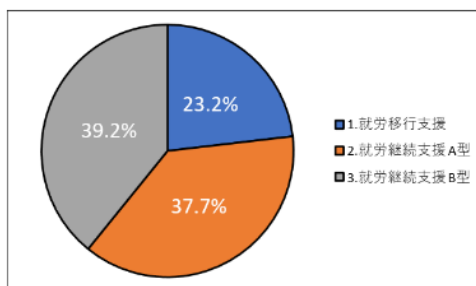
また、性別については、どの事業でも、男性が65%前後と多くなっている。

## Q3. 事業種別

- 回答利用者の利用している事業種別は、就労A・Bがともに700件弱で40%弱ずつ、就労移行が400件強となった

Q3. 事業種別

回答	全体	
	件数	構成比
1.就労移行支援	408	23.2%
2.就労継続支援A型	664	37.7%
3.就労継続支援B型	690	39.2%
計	1,762	100.0%

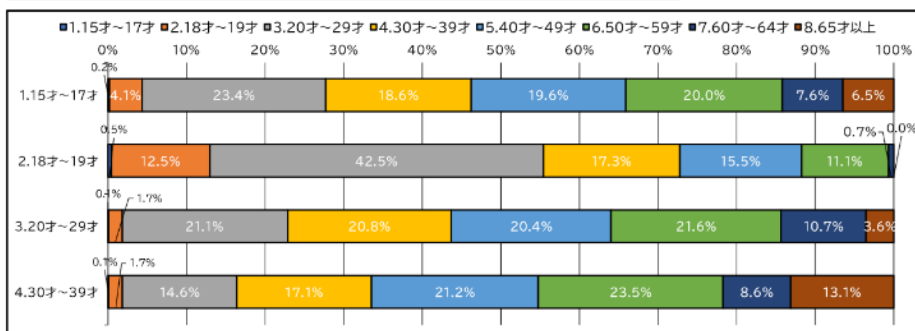


## Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

- 回答者の年齢は、全体と就労Aでは20～64才に約9割が集中しているが、就労移行では18～59才に98.8%、就労Bでは20～64才が85.0%で65歳以上に13.1%と、事業によりコアの年齢層がちがう結果となっている

Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

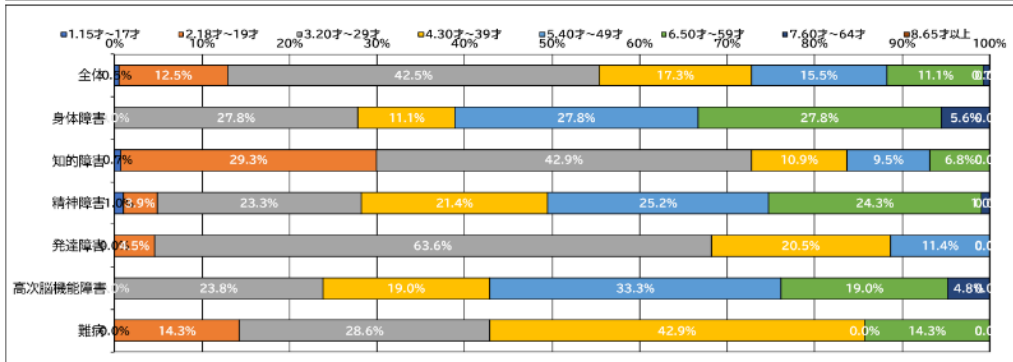
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.15才～17才	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
2.18才～19才	79	4.1%	54	12.5%	12	1.7%	13	1.7%
3.20才～29才	447	23.4%	184	42.5%	153	21.1%	110	14.6%
4.30才～39才	355	18.6%	75	17.3%	151	20.8%	129	17.1%
5.40才～49才	375	19.6%	67	15.5%	148	20.4%	160	21.2%
6.50才～59才	382	20.0%	48	11.1%	157	21.6%	177	23.5%
7.60才～64才	146	7.6%	3	0.7%	78	10.7%	65	8.6%
8.65才以上	125	6.5%	0	0.0%	26	3.6%	99	13.1%
計	1,913	100.0%	433	100.0%	726	100.0%	754	100.0%



## Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)移行

Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

回答	全体		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		雑病	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.15才～17才	2	0.5%	0	0.0%	1	0.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2.18才～19才	54	12.5%	0	0.0%	43	29.3%	4	3.9%	6	4.5%	0	0.0%	1	14.3%
3.20才～29才	184	42.5%	5	27.8%	63	42.9%	24	23.3%	84	63.6%	5	23.8%	2	28.6%
4.30才～39才	75	17.3%	2	11.1%	16	10.9%	22	21.4%	27	20.5%	4	19.0%	3	42.9%
5.40才～49才	67	15.5%	5	27.8%	14	9.5%	26	25.2%	15	11.4%	7	33.3%	0	0.0%
6.50才～59才	48	11.1%	5	27.8%	10	6.8%	25	24.3%	0	0.0%	4	19.0%	1	14.3%
7.60才～64才	3	0.7%	1	5.6%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
8.65才以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	433	100.0%	18	100.0%	147	100.0%	103	100.0%	132	100.0%	21	100.0%	7	100.0%



あなたは今、だれといっしょに住んでいますか？

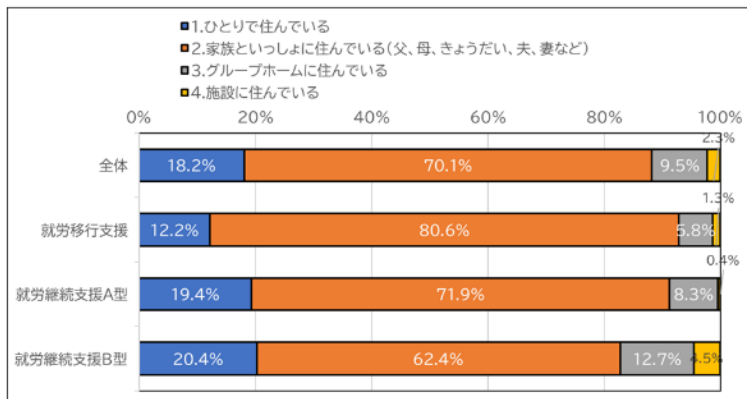
全体では家族と同居が70.1%で最も多く、次いでひとり暮らし(18.2%)だった。ひとり暮らしは就労継続支援 A 型・B 型で2割前後と多く、就労移行支援では約8割が家族同居だった。

## Q6. あなたは今、だれといっしょに住んでいますか？(選択は1つ)

- 全体では家族と同居が70.1%で最も多く、次いでひとり暮らし(18.2%)だった。ひとり暮らしは就労A・Bで2割前後と多く、就労移行では約8割が家族同居だった。

Q6. あなたは今、だれといっしょに住んでいますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.ひとりで住んでいる	361	18.2%	55	12.2%	144	19.4%	162	20.4%
2.家族といっしょに住んでいる(父、母、きょうだい、夫、妻など)	1393	70.1%	362	80.6%	534	71.9%	497	62.4%
3.グループホームに住んでいる	189	9.5%	26	5.8%	62	8.3%	101	12.7%
4.施設に住んでいる	45	2.3%	6	1.3%	3	0.4%	36	4.5%
計	1,988	100.0%	449	100.0%	743	100.0%	796	100.0%



- ・ 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？

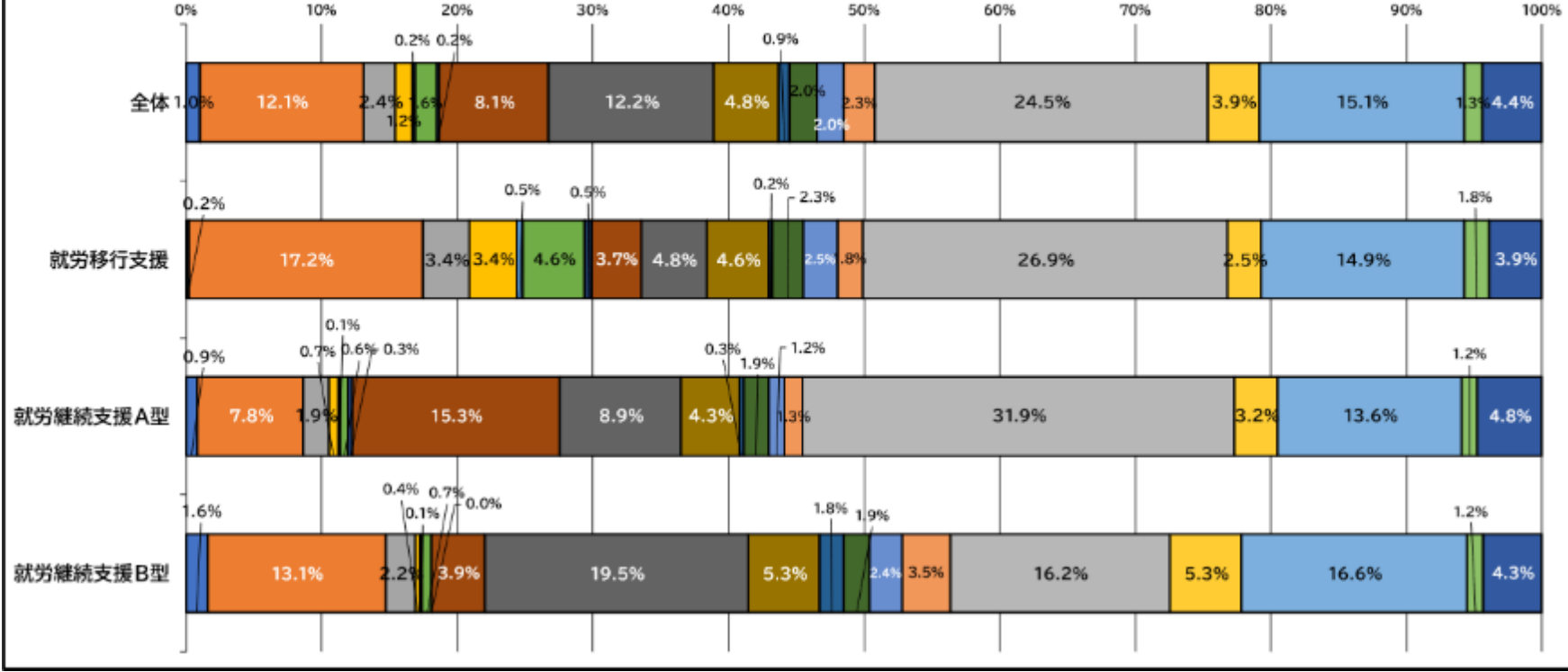
就労移行支援と就労継続支援 A 型で「会社など(就職)」が3割前後と多く、全体でも24.5%で最も多い。一方、就労継続支援 B 型では他の B 型事業所からという回答が19.5%と最も多かった。次いで自宅という答えが多いが、就労移行支援と就労継続支援 B 型では「特別支援学校」が15%前後あった。特に就労移行支援では、大学が4.6%、普通学校及び専門学校がともに3.4%と、特別支援学校以外の教育機関からの割合も一定程度あった。

## Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？ (選択は1つ)

Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.中学校	19	1.0%	1	0.2%	6	0.9%	12	1.6%
2.特別支援学校	226	12.1%	75	17.2%	54	7.8%	97	13.1%
3.普通高校	44	2.4%	15	3.4%	13	1.9%	16	2.2%
4.専門学校	23	1.2%	15	3.4%	5	0.7%	3	0.4%
5.短期大学	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
6.大学	29	1.6%	20	4.6%	4	0.6%	5	0.7%
7.大学院	4	0.2%	2	0.5%	2	0.3%	0	0.0%
8.就労継続支援A型事業所	151	8.1%	16	3.7%	106	15.3%	29	3.9%
9.就労継続支援B型事業所	227	12.2%	21	4.8%	62	8.9%	144	19.5%
10.就労移行支援事業所	89	4.8%	20	4.6%	30	4.3%	39	5.3%
11.生活介護事業所	16	0.9%	1	0.2%	2	0.3%	13	1.8%
12.自立訓練事業所	37	2.0%	10	2.3%	13	1.9%	14	1.9%
13.地域活動支援センター	37	2.0%	11	2.5%	8	1.2%	18	2.4%
14.医療機関(デイケア)	43	2.3%	8	1.8%	9	1.3%	26	3.5%
15.会社など(就職)	458	24.5%	117	26.9%	221	31.9%	120	16.2%
16.病院に入院	72	3.9%	11	2.5%	22	3.2%	39	5.3%
17.自分の家	282	15.1%	65	14.9%	94	13.6%	123	16.6%
18.わからない	25	1.3%	8	1.8%	8	1.2%	9	1.2%
19.その他※くわしく書いてください。	82	4.4%	17	3.9%	33	4.8%	32	4.3%
計	1,868	100.0%	435	100.0%	693	100.0%	740	100.0%

- 1. 中学校
- 2. 特別支援学校
- 3. 普通高校
- 4. 専門学校
- 5. 短期大学
- 6. 大学
- 7. 大学院
- 8. 就労継続支援A型事業所
- 9. 就労継続支援B型事業所
- 10. 就労移行支援事業所
- 11. 生活介護事業所
- 12. 自立訓練事業所
- 13. 地域活動支援センター
- 14. 医療機関(デイケア)
- 15. 会社など(就職)
- 16. 病院に入院
- 17. 自分の家
- 18. わからない
- 19. その他※くわしく書いてください。





- 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？

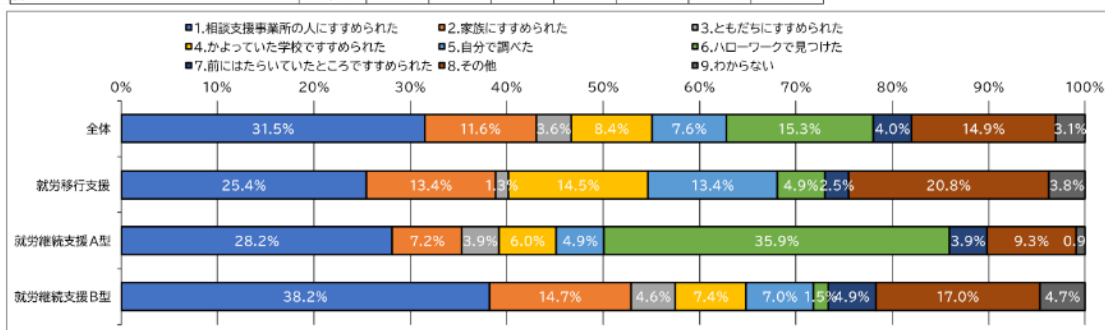
相談支援事業所からの紹介が全体では31.5%で最も多く、各事業でも多くなっている。就労移行支援では学校、家族、自分で調べたという割合がいずれも14%前後で比較的多く、就労継続支援A型では、ハローワークで見つけた割合が最も多く35.9%だった。

## Q8. 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？ (選択は1つ)

- 相談支援事業所からの紹介が全体では3割強、各事業でも多くなっている
- 就労移行では学校、家族、自分で調べたという割合が14%弱で比較的多い
- 就労Aでは、ハローワークで見つけた割合が最も多く35.9%だった

Q8. 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.相談支援事業所の人にすすめられた	627	31.5%	114	25.4%	212	28.2%	301	38.2%
2.家族にすすめられた	230	11.6%	60	13.4%	54	7.2%	116	14.7%
3.ともだちにすすめられた	71	3.6%	6	1.3%	29	3.9%	36	4.6%
4.かよっていた学校ですすめられた	168	8.4%	65	14.5%	45	6.0%	58	7.4%
5.自分で調べた	152	7.6%	60	13.4%	37	4.9%	55	7.0%
6.ハローワークで見つけた	304	15.3%	22	4.9%	270	35.9%	12	1.5%
7.前にはたらいっていたところですすめられた	79	4.0%	11	2.5%	29	3.9%	39	4.9%
8.その他	297	14.9%	93	20.8%	70	9.3%	134	17.0%
9.わからない	61	3.1%	17	3.8%	7	0.9%	37	4.7%
計	1,989	100.0%	448	100.0%	753	100.0%	788	100.0%



- ・ 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？

全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%で、全事業でも最も多い回答だった。就労移行支援では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている。

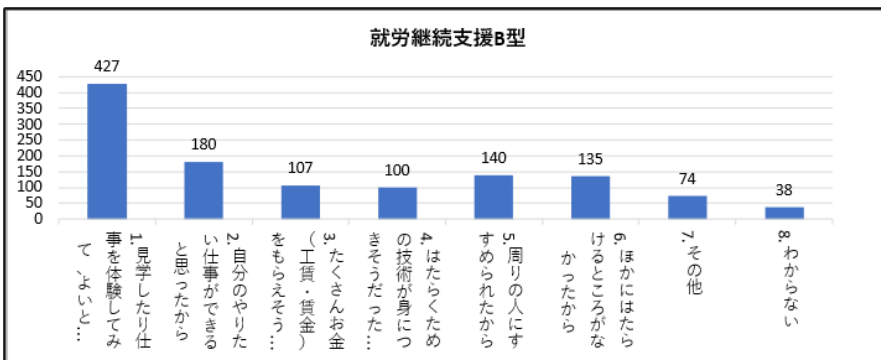
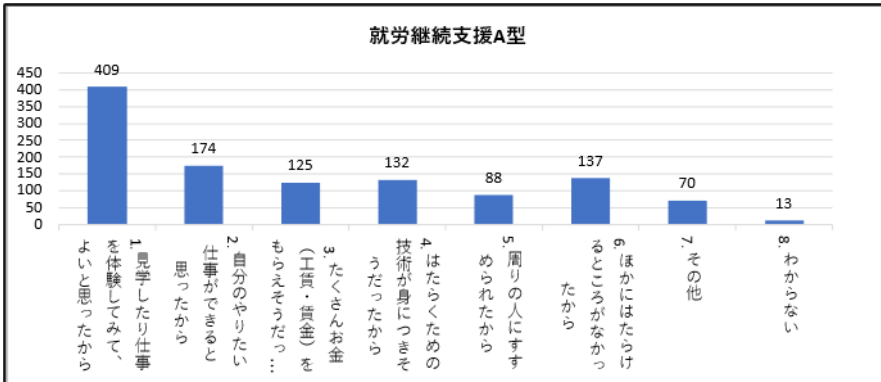
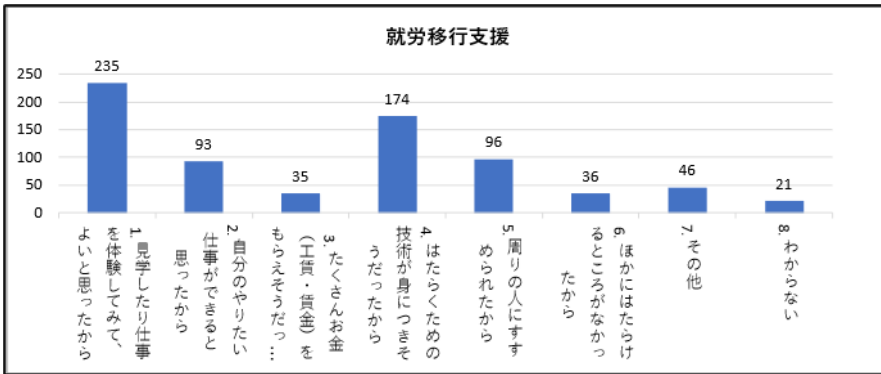
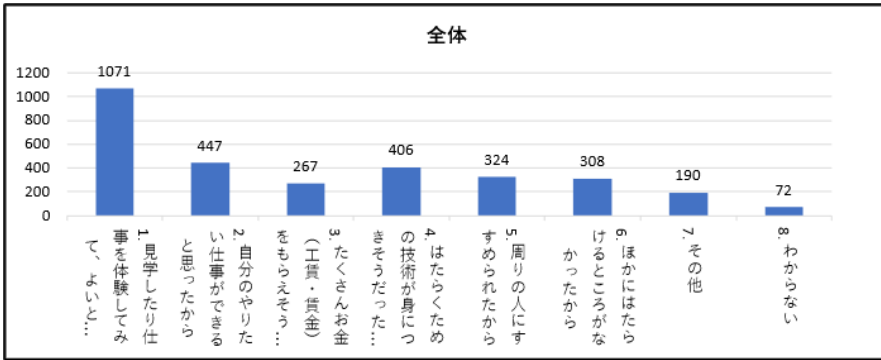
就労継続支援A型・B型では「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で、いずれの事業でも15%前後だった。

### Q9. 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%、全事業でも最も多かった
- 就労移行では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている
- 就労A・Bでは「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で15%前後だった

Q9. 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから	1071	34.7%	235	31.9%	409	35.6%	427	35.6%
2.自分のやりたい仕事ができると思ったから	447	14.5%	93	12.6%	174	15.2%	180	15.0%
3.たくさんお金(工賃・賃金)をもらえそうだったから	267	8.7%	35	4.8%	125	10.9%	107	8.9%
4.はたらくための技術が身につくそうだったから	406	13.2%	174	23.6%	132	11.5%	100	8.3%
5.周りの人にすすめられたから	324	10.5%	96	13.0%	88	7.7%	140	11.7%
6.ほかにはたけるところがなかったから	308	10.0%	36	4.9%	137	11.9%	135	11.2%
7.その他	190	6.2%	46	6.3%	70	6.1%	74	6.2%
8.わからない	72	2.3%	21	2.9%	13	1.1%	38	3.2%
計	3,085	100.0%	736	100.0%	1,148	100.0%	1,201	100.0%



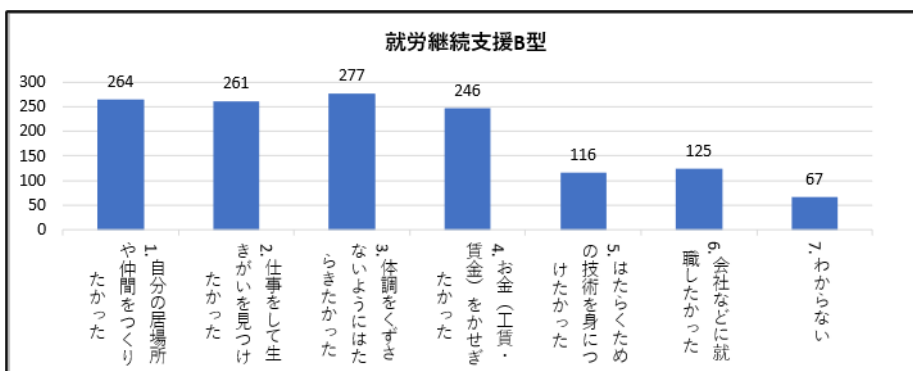
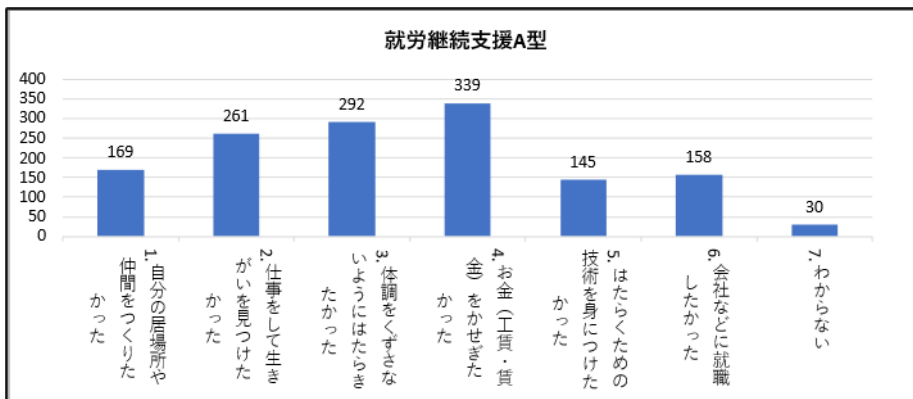
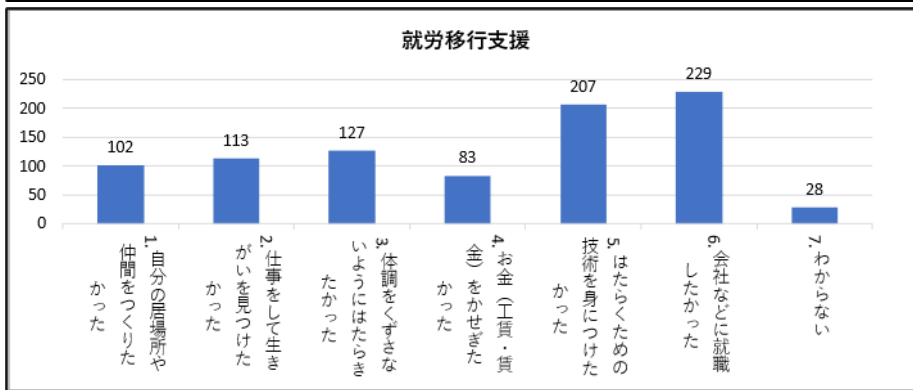
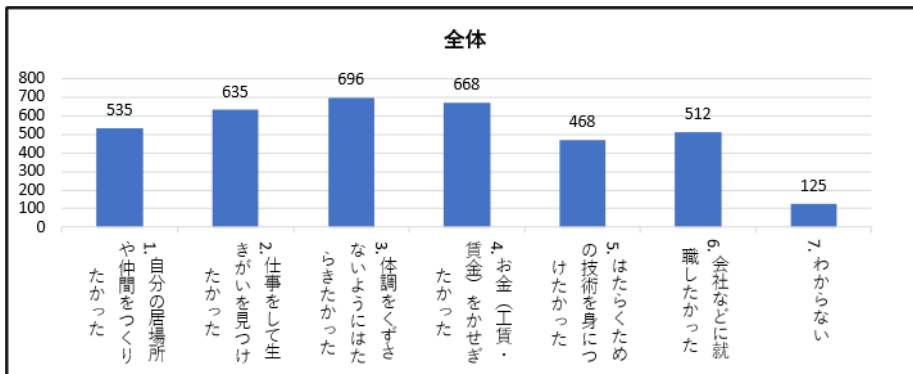
- ・ 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？
- ・ 利用開始当初の本人の希望については、全体では各選択肢おおむね13～18%で大きな差がなかった。就労移行支援では「6.会社などに就職したかった」が25.8%で最も多く、次いで「5.はたらくための技術を身につけたかった」が23.3%で、就労継続支援A型では「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」が24.3%で最も多く、次いで「3.体調をくずさないようにはたらきたかった(20.9%)」「2.仕事をして生きがいを見つけたかった(18.7%)」が多かった。就労継続支援B型では、「1.自分の居場所や仲間をつくりたかった」～「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」がすべて20%前後で大きな特徴は出なかった。

### Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？(選択はいくつでも)

- 利用開始当初の本人の希望については、全体では各選択肢おおむね13～18%で大きな差がなかった
- 就労移行では「6.会社などに就職したかった」が25.8%で最も多く、次いで「5.はたらくための技術を身につけたかった」が23.3%だった
- 就労Aでは「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」が24.3%で最も多く、次いで「3.体調をくずさないようにはたらきたかった(20.9%)」「2.仕事をして生きがいを見つけたかった(18.7%)」が多かった
- 就労Bでは、1.～4.がすべて20%前後で大きな特徴は出なかった

Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたかった	535	14.7%	102	11.5%	169	12.1%	264	19.5%
2.仕事をして生きがいを見つけたかった	635	17.4%	113	12.7%	261	18.7%	261	19.2%
3.体調をくずさないようにはたらきたかった	696	19.1%	127	14.3%	292	20.9%	277	20.4%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった	668	18.4%	83	9.3%	339	24.3%	246	18.1%
5.はたらくための技術を身につけたかった	468	12.9%	207	23.3%	145	10.4%	116	8.6%
6.会社などに就職したかった	512	14.1%	229	25.8%	158	11.3%	125	9.2%
7.わからない	125	3.4%	28	3.1%	30	2.2%	67	4.9%
計	3,639	100.0%	889	100.0%	1,394	100.0%	1,356	100.0%



- ・ 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？

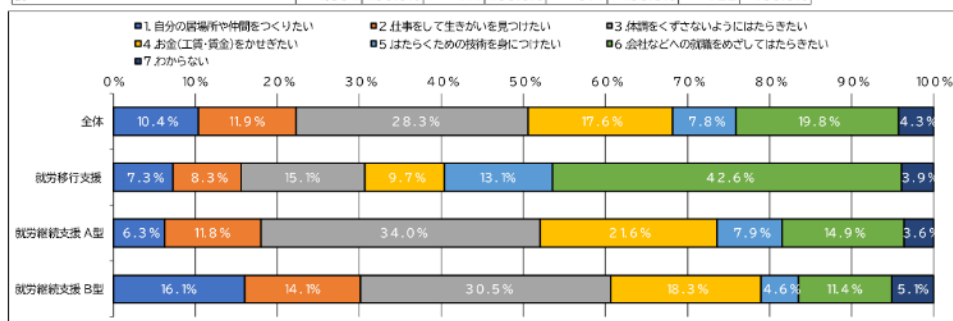
現在の本人の希望については、全体では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が28.3%で最も多く、次いで「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が19.8%だった。就労移行支援では「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が42.6%で突出して多かった。就労継続支援A型・B型では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が30%を超えて最も多く、次いで「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」が20%前後となっている。

### Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

- 現在の本人の希望については、全体では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が28.3%で最も多く、次いで「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が19.8%だった
- 就労移行支援では「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が42.6%で突出して多かった
- 就労A・Bでは「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が30%を超えて最も多く、次いで「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」が20%前後となっている

Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたい	188	10.4%	30	7.3%	42	6.3%	116	16.1%
2.仕事をして生きがいを見つけたい	215	11.9%	34	8.3%	79	11.8%	102	14.1%
3.体調をくずさないようにはたらきたい	510	28.3%	62	15.1%	228	34.0%	220	30.5%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	317	17.6%	40	9.7%	145	21.6%	132	18.3%
5.はたらくための技術を身につけたい	140	7.8%	54	13.1%	53	7.9%	33	4.6%
6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい	357	19.8%	175	42.6%	100	14.9%	82	11.4%
7.わからない	77	4.3%	16	3.9%	24	3.6%	37	5.1%
計	1,804	100.0%	411	100.0%	671	100.0%	722	100.0%



- あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？

全事業で「その他の軽作業」が最も多いが、就労 A では「施設外就労」が 10.2% 「検査・検品」「内職」「梱包・箱詰め」が 7% 前後が続く。就労移行では 2 位が「建物の中のそうじ」で 8.4%、就労 B では「内職」が 10.5% で 2 位となっている。

## Q12. あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？ (選択はいくつでも)

- 全事業で「その他の軽作業」が最も多いが、就労 A では「施設外就労」が 10.2% 「検査・検品」「内職」「梱包・箱詰め」が 7% 前後が続く。就労移行では 2 位が「建物の中のそうじ」で 8.4%、就労 B では「内職」が 10.5% で 2 位となっている。

Q12. あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？ (選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.仕事や訓練はしていない	33	0.8%	15	1.3%	4	0.3%	14	0.9%
2.農業	188	4.3%	36	3.2%	89	5.7%	63	3.9%
3.パンづくり	35	0.8%	8	0.7%	10	0.6%	17	1.0%
4.菓子づくり	59	1.4%	5	0.4%	22	1.4%	32	2.0%
5.弁当づくり・配達	63	1.5%	5	0.4%	35	2.2%	23	1.4%
6.食品づくり	87	2.0%	10	0.9%	50	3.2%	27	1.7%
7.機械製品づくり	32	0.7%	4	0.4%	17	1.1%	11	0.7%
8.皮製品づくり	13	0.3%	2	0.2%	4	0.3%	7	0.4%
9.木工製品づくり	18	0.4%	6	0.5%	1	0.1%	11	0.7%
10.紙製品づくり	114	2.6%	28	2.5%	31	2.0%	55	3.4%
11.部品・機械組立	167	3.9%	40	3.6%	53	3.4%	74	4.5%
12.その他のものづくり	168	3.9%	35	3.1%	48	3.1%	85	5.2%
13.印刷	31	0.7%	15	1.3%	10	0.6%	6	0.4%
14.リサイクル	103	2.4%	3	0.3%	38	2.4%	62	3.8%
15.建物の中のそうじ	281	6.5%	94	8.4%	99	6.3%	88	5.4%
16.建物の外のそうじ	149	3.4%	43	3.8%	55	3.5%	51	3.1%
17.草取り・雪かき・配達	181	4.2%	46	4.1%	52	3.3%	83	5.1%
18.クリーニング	87	2.0%	17	1.5%	34	2.2%	36	2.2%
19.パソコンを使った設計やプログラミングなど	140	3.2%	76	6.8%	32	2.0%	32	2.0%
20.書類を封筒に入れる・仕分け・発送	175	4.0%	60	5.4%	55	3.5%	60	3.7%
21.文字起こし	30	0.7%	17	1.5%	5	0.3%	8	0.5%
22.検査・検品	279	6.4%	63	5.6%	116	7.4%	100	6.1%
23.内職	344	7.9%	66	5.9%	106	6.7%	172	10.5%
24.梱包・箱詰め	232	5.4%	55	4.9%	108	6.9%	69	4.2%
25.その他の軽作業	517	11.9%	113	10.1%	174	11.1%	230	14.1%
26.仕入れ・販売	51	1.2%	15	1.3%	18	1.1%	18	1.1%
27.喫茶店・レストラン	54	1.2%	10	0.9%	23	1.5%	21	1.3%
28.その他	346	8.0%	124	11.1%	118	7.5%	104	6.4%
29.施設外就労(みんなで違う会社にはたらきに出かける)職種を記入して下さい。	297	6.9%	66	5.9%	160	10.2%	71	4.3%
30.職場実習中(就職などに向けて会社で仕事を試す)実習内容を記入して下さい。	55	1.3%	44	3.9%	6	0.4%	5	0.3%
計	4,329	100.0%	1,121	100.0%	1,573	100.0%	1,635	100.0%